

通信業における死傷災害発生事例（2017年）

年	月	発生時	死傷災害発生事例	年齢	起因物 (小)	事故の 型	労働者規 模
2017	1	12～ 13	集荷を終え、帰局する際に直進で走行中、信号の無い交差点エリアで、左方から一時停止をせずに勢いよく相手車両が飛び出し、左前角と左後角を二段階で衝突され、右前方の雪山に乗り上げた。	38	231	17	10～ 29
2017	1	11～ 12	配達作業中、配達先へ配達を終え、バイクに戻ろうと凍結している砂利道を歩いていた所、左足を滑らせ地面の凹凸に引っかけて捻り、転倒して左足首を負傷した。	40	417	2	500 ～ 999
2017	1	12～ 13	バイクで配達時、凍結路面でスリップしてタイヤがロックし、転倒してバイクの下敷きとなり、左脇腹を強打した。	32	231	17	500 ～ 999
2017	1	16～ 17	当局局内において、1階の事務室に向かうため3階から2階へ階段を下りていたところ、足がもつれバランスを崩し、こらえられず転落し、左肩・左手甲を骨折した。	44	413	1	300 ～ 499
2017	1	15～ 16	ポストの投函後、バイクに戻り下り坂側へUターンしようとしたとき、バランスを崩し右側へ転倒し、右肩を強打した。	50	231	2	50～ 99
2017	1	20～ 21	休憩時間中に女子ロッカーにて、すのこ板につまずき転倒し両手と両膝に軽い痛みがり内出血を負った	51	417	2	500 ～ 999
2017	1	18～ 19	発着台（高さ53cm）を降りる際、右足から踏み込んだところ、右ふくらはぎに激痛がはしった。	48	921	19	30～ 49
			配達物の区分作業に従事していて、両手で配達物を抱えた状態で、				500

2017	1	11～ 12	押印机から区分棚へ移動中に、ケースカートに足がつまずき、体勢を崩して、区分棚の角に背中を強打し怪我をした。	60	417	2	～ 999
2017	1	10～ 11	局舎内2階から1階への移動中、階段途中にある踊り場から、1階まで降りる際に、貧血と思われるめまいを発症したためふらつき、つまずいたため転倒し、階段の一番下まで転がり落ち、頭部右側を階段下の床（カーペット・足拭マット敷き）に強打・受傷した。	40	413	2	100 ～ 299
2017	1	15～ 16	配達を終えた後、強風にあおられ1メートル下の田んぼに落ちてしまった。	36	231	17	100 ～ 299
2017	1	16～ 17	配達からの帰局途中、路面凍結した道路で自動二輪車の後輪が滑り、とっさに左右両ブレーキをかけたところ、前のめりになって転倒し、右足を地面に打ちつけた。	29	231	17	100 ～ 299
2017	1	15～ 16	次の訪問先へ向かう途中、農道（舗装路）を走行中に、進行方向左側からの突風に煽られ、農道右側へバイクの車体が運ばれて田んぼの土手斜面をバイクごと滑り落ちて転倒した。	60	231	17	50～ 99
2017	1	14～ 15	荷物が積まれたパレットを運ぶため、左手で灰色パレット（鉄製V型）の左端を掴み、引き出そうとしたとき、パレットを掴んでいた手を滑らせて、尻もちをつくような体勢で後ろに倒れた。その際に両手を床についてしまい、痛みが生じ、左手首骨にヒビ・右手打撲を負った。	62	362	2	500 ～ 999
2017	1	10～ 11	住宅街の中の道路で、配達を行っているとき、次の配達先に行く際に右折するため中央へ進路変更を行った。右前方に歩行者がいたため左側に進路変更して減速したところ、後方の自動車が追い抜きをかけようとして後方を確認せずに右折を開始し、後方の自動車と衝突した。	31	231	17	100 ～ 299
2017	1	12～ 13	T字路を自動二輪車で配達作業中、左折するため、T字路手前で停車していた所、左側から左折してきた相手自動車が衝突してきた。	41	231	17	100 ～

			局社員は左側に倒れ、ひじと膝を打撲する怪我を負った。					299
2017	1	13～ 14	お昼の休憩を終え、職場に戻ろうと手すりのない階段を下りていたところ、下から2段目の階段を踏み外した。右手を巻き込んで顔から転げ落ち、顔面および右手、体を階段にぶつけた。	59	413	1	～	299
2017	1	12～ 13	自転車で配達中、左側から自転車に乗ろうと右足を上げたところバランスを崩し転倒した。転倒時に右足で自分の左足甲を踏み、骨折した。	52	362	2	～	999
2017	1	17～ 18	業務用自動二輪車で一方通行を運転中（直進信号は青）、左側に小学生がキックボードで走行していた。小学生が急に反対側へきたので、とっさに回避し接触はしなかったが、バランスを崩して右側に転倒し、右橈骨遠位端骨折を負った。なお、警察立会いのもと、相手側と接触していないことを確認した。	39	231	2	～	499
2017	1	14～ 15	配達中、配達先の駐車場でポスト投函し、その家の駐車場で手に持っている配達物を見ながら次の配達先を確認し歩いた。駐車場の真ん中の芝生を歩いたとき、芝生に段差があり左足をつき、足首をひねってしまった。	57	417	19	50～	99
2017	1	10～ 11	市営アパートの一室への配達を終え、次の配達先に向かうためにアパート内の階段を急いで降りていたところ、誤って階段を踏み外して足首から着地してしまい、右足を骨折した。	34	413	1	～	299
2017	1	11～ 12	配達のためお客様宅外階段を昇っていた際、階段に右足がつかずいてしまい、左膝を負傷した。	26	413	3	～	299
2017	1	11～ 12	配達を終え車両に戻る際、歩道から車道に出ようと植木の間を通過する時、木の根に引っ掛かり転倒した。	40	712	1	～	499
2017	1	11～ 12	二輪車で配達業務の為走行中、片側2車線の交差点を右折する際、対向車線を直進してきた相手車両と衝突した。	31	231	17	～	500

									999
2017	1	13～ 14	当方社員は配達を終え帰局途中、当該路地の信号の無い交差点へさしかかり、交差点を直進しようとしていた。左側に相手方車両を目視していたが、当方道路が優先であったため、交差点に進入したところ、相手側車両が、路地から出て来た為、接触し横転し、頸椎・右胸・右大腿を負傷した。	30	231	17			100 ～ 299
2017	1	15～ 16	階段を下ろうとした時、地面につまずき階段5段目より落下し左腕を負傷した。	26	413	1			300 ～ 499
2017	1	12～ 13	帰局途中、交差点通過中に強風にあおられふらつき、交差点先に縁石に接触し、バイクから投げ出され左足かかと部分を強打し負傷した。	37	231	17			300 ～ 499
2017	1	11～ 12	当方バイクに乗務し配達していたところ、相手方の車が猛スピードで当方に直進してきたため、左方のバイクで移動し停車していたとき、相手が気が付かずに直進し接触し、右腕を負傷した。	46	231	17			300 ～ 499
2017	1	15～ 16	配達業務に従事中、配達先敷地内の階段で足を踏み外して転倒し、顔面及び右手首を階段最下段コンクリート部に強打した。配達先は傾斜地になっているため、公道に面した門から母屋までは約20段の階段を昇り降りする。事故発生時、被災社員は配達を終えたところであり、階段を4分の3ほど降りたところで足を踏み外した。	65	413	1			500 ～ 999
2017	1	11～ 12	110ccの二輪車で配達先へ向かう途中で、圧雪の上に新雪が積もった状態の道路を時速10～15kmで直進していた。直進中に前輪がスリップしバランスを崩して右側へ二輪車ごと転倒し、その際、元々痛めていた右足が地面と二輪車に挟まれ負傷した。	54	719	2			100 ～ 299
2017	1	9～ 10	配達のためバイクで走行中、四輪自動車が路外の駐車場から逆走してきたため衝突し、転倒して頭部を打撲した。その後、硬膜下血腫の症状が現れ、投薬治療を受けていたが症状が悪化し、休業となった。	50	231	17			100 ～ 299

2017	1	16~ 17	被災者が配達を終え、帰局するため原付バイクで走行中、歩道でボールを使ってふざけている小学生がいたため、念のため走行位置を中央寄りにしたところ、前を走っていた普通乗用車が右折するため速度を落としたことに気がつくのが遅れ、咄嗟に右にハンドルを切り回避しようとしたが間に合わず、相手方普通乗用車の右後方に衝突し、その際転倒したことにより左手の甲を骨折するなどの負傷をした。	23	239	17	—
2017	1	19~ 20	路上で、社員は小包の配達作業のため、自動二輪車で走行中、坂道を上がろうと加速した際にバランスを崩した。体勢を立て直した後、視線を一旦下げて、顔を上げたところ、正面に歩行者を発見した。ブレーキをかけたが間に合わず衝突し、相手は転倒して救急搬送され、社員も右側に転倒し負傷した。	47	231	17	—
2017	1	16~ 17	片側一車線の道路をバイクで帰局途中、右折するためにウインカーを出し赤信号で止まっていた。信号が青に変わり、前車が直進したため進もうとしたところ後方より進行してきた乗用車がすり抜けようとした際、乗用車の右前フェンダーがバイクのキャリアボックス左側面に衝突した。バイクは倒れそうになったが、踏ん張って転倒はしなかった。しかし、徐々に立ってられないほどの痛みが出たため救急搬送された。	33	231	17	300 ~ 499
2017	1	18~ 19	配達をしようと、配達先の家の前にバイクを止め、玄関先まで行こうと、敷地前方に張ってあるロープを跨いだ際に、右足を引っかけてバランスを崩し、先に着地していた左足を捻って転倒し負傷した。	41	417	2	100 ~ 299
2017	1	6~7	業務に必要な新聞を取りに行くため、工事中の社屋駐車場を通りポストに向かう途中、地面がでこぼこになっている箇所にひっかかり転倒し、両手挫創・両膝挫傷・左膝挫創・顔面挫傷を負った。	28	711	2	50~ 99
2017	1	7~8	自宅から会社まで原付で向かう途中、会社の車庫前にあった水たまりが凍結し、その上を走行したとき、前ブレーキをかけたところ前輪がスリップし、バランスを崩して転倒し、左鎖骨を骨折した。	22	231	2	50~ 99

2017	1	19~ 20	降雪の後（約5時間後）、路面がその部分だけ凍結していたのに気付かず、カーブ手前で減速のためブレーキを掛けたところ、スリップして左側へバイクが転倒し、左肘骨折、左肩打撲をした。	64	231	17	~ 499	300
2017	1	12~ 13	配達用バイクで走行中、道路に積もった雪（深さ10センチ程度）に前タイヤが滑り、バランスを崩したため左側へ転倒し、はずみで右側へ飛ばされ右肘を負傷した。	44	715	17	~ 299	100
2017	1	14~ 15	配達する際、入り口付近でつまずき転倒し、左手小指をコンクリート面に強打し裂傷を負った。	55	418	2	~ 299	100
2017	1	16~ 17	道路を営業用スクーターで営業先に向かって走行中、路面の凍結箇所ですくーターがスリップして転倒した。左側に転倒した際、路面に左肘を強打し、左胸が左手で圧迫された。	47	231	17	~ 299	100
2017	1	19~ 20	窓口で引き受けた際、お客さまに控えを渡し忘れたため、走って追いかけたところ、駐車場の車止めに躓き、転倒して怪我をした。	48	418	2	~ 299	100
2017	1	9~ 10	局内小包作業場において、配達する小包を振り分ける作業を行い、床置きしていた10kg程の荷物を立ったまま持ち上げたとき、腰に違和感を覚えたが、引き続き作業を続けた。床置き小さな荷物を右斜めに手をのばし無理な体勢で取ろうとしたところ、腰に痛みがはしり動けなくなった。	40	611	19	~ 499	300
2017	1	21~ 22	CRB（冷凍・冷蔵ゆうパック搬送用パレット）搬送中、EVを出たあたりで膝に痛みを感じた。当日はそのまま業務を続行したものの、痛みが継続した。	22	362	19	~ 999	1000
2017	1	11~ 12	3階から2階へ階段を小走りで下っているときに左足をひねった。その際、手には何も持っておらず、前方をみていた。	40	413	19	~ 499	300
			中央分離帯のある片側二車線にて、幹線道路の追い越し車線を走行					

2017	1	17~ 18	していたとき、側道から相手の車が飛び出してきて当方左側面に追突した。	47	231	17	—
2017	1	12~ 13	お客さま宅へバイクにて走行中、道路にて路面が凍っているように見えたため、徐行していたが前輪がスリップし右側へ転倒し、右肩を強打した。	53	231	17	300 ~ 499
2017	1	9~ 10	配達を終え、配達先玄関から車両に戻ろうと配達先敷地内を歩行していたところ、凍結した路面で足が滑り、転倒し負傷した。通常はスニーカー等の運動靴着用している。	41	719	2	500 ~ 999
2017	1	14~ 15	自動二輪車にて配達先へ移動中、登り勾配を登りきる直前で路面が突然凍結していたため、タイヤがスリップして自動二輪車が後方に下がり始めた。路面に脚をついてバイクを支えようとしたものの靴も滑ってしまい、バイクが右側に倒れ、右脚がバイクの下敷きになった。	62	231	17	300 ~ 499
2017	1	18~ 19	敷地内でゴミ箱を両手に抱えて、駐車場に向かって歩き始めたところ、足元の門の止め金に気付かず、右足でつまずき前のめりに転倒した。	64	417	2	300 ~ 499
2017	1	9~ 10	被災者は、事務室コールセンターエリア内で電話受付業務に従事中、椅子から立ち上がり左側社員Aの後方を移動していたところ、Aが座っている椅子の脚に右足をひっかけ左肩から転倒し、左肩及び頸椎を負傷した。	61	391	2	500 ~ 999
2017	2	16~17	配達作業中、バイクを降り配達先へ歩行中、手元の配達物を確認しながら歩いていたところ、玄関前の砂利に足をとられ、右足首を挫いてしまい負傷した。	33	417	3	500 ~ 999
2017	2	14~15	社会福祉施設への配達を終えバイクで発進した直後、路面がアイスバーンになっていることに気づかずスリップし、バイクごと転倒した。その際、路面に右肩を強打した。	53	719	2	10~ 29
			被災者は、個人宅へ配達をしようと、道路にバイクを停車し、配達				300

2017	2	14~15	箇所へ歩いて向かう途中、少し傾斜になっているところで足を滑らせ転倒した。	24	719	2	~ 499
2017	2	11~12	配達を終え、バイクに戻り発進しながらUターンをしようとした際、凍結した路面に後タイヤを取られてスリップし転倒した。 とっさに庇おうとして右手を地面についたところ、ちょうどそこに倒れて来たバイクのハンドルグリップの端が落ちてきて道路とハンドルグリップに右手環指が挟まれる形となり裂傷を負った。	43	231	2	~ 299
2017	2	11~12	配達作業をしていてバイク左側から乗ろうとした際、右足をサドルに引っ掛けてバランスを崩し、凍結路面だったため、踏ん張りきれずバイク右側にうつ伏せに倒れ、右足ふくらはぎの上にキャリアボックスが倒れてきた。	58	231	2	~ 299
2017	2	14~15	片側1車線の交通量の少ない通りを直進中、次の配達先に気をとられ、緩いカーブであることに気付くのが遅れ、砂のたまっている路肩で滑って、縁石に接触した後、転倒して落石防護ネットの支柱にぶつかったものである。	31	231	17	~ 299
2017	2	11~12	トイレに行こうとして2Fから1Fに下りる時、下から3段目の所で階段踏板を踏み外して前のめりで転落し頭と脇腹を踏板の角に強打して左側肋骨4本を骨折する。作業中に老眼鏡を使用してそのまま降りたので良く見えなかった。	35	413	1	~ 299
2017	2	11~12	前日から始まったワカメの加工中、茹で方を担当していた者が足を滑らせて前方にあった茹で釜（水槽）に転落した。作業をしやすくするためにプラスチックケースで足場をかさ上げして使用しており、その足場の上に茹でたワカメの破片が落ちて、これを踏んで滑ってと考えられる。	32	231	17	~ 299
2017	2	16~17	工場内でサンダーにて研削作業をしていた時、研削箇所以外のところに接触し、サンダーが跳ね返り左脚膝の内側にサンダーの砥石が当たり切れた。	25	231	17	~ 999
			自動二輪車で配達中、自動二輪車を降りて配達先へ向かう途中、当				

2017	2	10~11	時吹雪いており、凍結路面の上に新雪が1~2cm積もっていた。前夜強い雨が降り、当日の朝、凍結していた事は本人も把握していた為、自動二輪車を滑らない所に停めた。自動二輪車を降りて2~3歩歩いたところ凍結していなかった為、配達物が飛ばされないよう、小走りした際、凍結している所で転倒し、負傷したものである。	44	417	2	300 ~ 499
2017	2	14~15	配達途中、信号機のない交差点を直進しようとした際、左側から直進してきた幼稚園の送迎バスと衝突して負傷した。	29	231	17	300 ~ 499
2017	2	15~16	二輪車で走行中、左方より一時停止違反で右折してきた自動車と衝突した。	38	231	17	100 ~ 299
2017	2	12~13	午前中の配達を終え帰局途中、前方信号が赤のため前方の車両に続いて停止したところ、後方から走行してきた車両に追突された。	34	231	17	100 ~ 299
2017	2	13~14	山間部にあるお宅へ配達物を徒歩で配達し、次の配達先へ向かおうと石段を上り始めたところ、右足を滑らせ、足首を捻って負傷した。（石段に浮石有）	63	413	2	50~ 99
2017	2	10~11	バイク2台で走行していたところ、被災者は後続車で、五差路において先行者が右折しようとし、後続車は右斜めへ進もうとしたため先行車の右後部に接触して転倒し負傷した。	51	231	17	—
2017	2	12~13	帰局途中で直進中右側から急な突風が吹いてきて、左に流され、道路の縁石に乗り上げ、近くの電柱に衝突し、左足を強打し、病院に救急搬送された。	35	231	3	100 ~ 299
			集荷先で黄色パレットに小包を積み込み、2tトラックのリフトに載せ、リフトの真後ろでリモコンを使用しリフトを上昇させたところ、リフトが自分の膝程度の高さの時に、強風と振動でパレットが				

2017	2	18~19	手前に動いてきて、パレットがリフトから斜めに落ちてきた。その斜めのパレットをあわてて両手で支えたが、重さに耐えられずパレットの下敷きになった。その際に、パレットの重心が右足首にかかり、右足首の内側を骨折した。パレットの重さは、パレット自体が約100kg、荷物が約100kgで合計200kgほどあり、パレットの車輪は固定してなく、リフトの車輪止めは使用しなかった。	53	221	5	300 ~ 499
2017	2	3~4	配達物の区分処理をしている際に、パレットに荷物を積んで扉を閉める際に右手中指を扉に挟んだ。	46	521	7	500 ~ 999
2017	2	13~14	バイクに乗車し、午前中の配達を終え戻る途中、交差点を直進していたところ、対向右折車が出て来て衝突した。その際、右足大腿骨、右足膝、右手小指を骨折し、顔4ヶ所の切り傷の負傷をした。	24	231	17	10~ 29
2017	2	15~16	集荷先で、集荷物（15kg程度のダンボール10個、30kg程度の集荷物が入ったファイバー3個）を3階から1階へ降ろしていた。エレベーターがないため階段で降ろしていたところ、ファイバーを持ち上げた際に首と左肩と左肘に電気が走るような痛みがあった。	46	611	19	500 ~ 999
2017	2	19~20	信号の無い交差点（相手側一時停止あり）を直進しようとした際、右側から来た相手側バイクに接触し負傷したものである。	55	231	17	500 ~ 999
2017	2	15~16	配達物を持って配達先に向かっている途中、道路に左足がつかずいて転倒した。転倒した時、右足を捻り、右膝を負傷した。	52	418	2	100 ~ 299
2017	2	13~14	バイクで配達する際、相手方四輪車へ追従して路地へ進入し、相手方四輪車が急停車したためバイクを止めて降車しようとした。その時に突然相手方がバックしたため衝突し負傷した。	26	231	17	300 ~ 499
2017	2	13~14	配達先のビルの7階から階段を小走りで1階まで下りようとする際、4階から3階に向かう途中、足を踏み外して前方に倒れた。倒れた際に手と膝をつき、膝にひびが入った。	42	413	1	300 ~ 499

2017	2	22~23	事業所内1F事務室において、移動パレットの下段にある荷物（約30kg）を区分するため持ち上げたところ腰痛が発生した。	37	611	19	~ 499	300
2017	2	12~13	バイクにまたがったまま配達（体をねじる動作）を行っていた際、背中から腰にかけて痛みが走った。落ち着くまで少し待機し動けるようになったので、午前中の配達を出来るだけ行い帰局した。帰局後も痛みがひかなかった為、管理者へ報告し病院へ行った。	44	231	19	~ 299	100
2017	2	18~19	軽四輪自動車にて配達作業に従事中、渋滞中の道路で停止していたところ、後方から追突された車両が当該車両の頭部に追突し、その衝撃で、首、肩、上腕部等を負傷し病院で治療を受けた。加害車両は当社社員の運転する1t車で、前方不注意により渋滞のため停止していた車両に後方から追突し、追突された車両が更に前方の当該車両に追突するという玉突き事故である。	25	231	17	~ 299	100
2017	2	12~13	配達先のマンションで配達を終えて階段を下っている時地面に足を着いた際に右足首を外側へひねってしまい右足甲を剥離骨折した。	42	417	2	~ 499	300
2017	2	15~16	配達途中でバイクを止めアパート2階への配達終了後、階段を下り、小走りでバイクに戻る途中で石につまずき勢いよく転倒した際に両足膝、頭を強打した。	35	417	2	~ 499	300
2017	2	11~12	配達の為、配達前にバイクを駐車しようとバイクを止めた。配達に向かう為、左側に降車しようとしたところサイドスタンドを掛けるのを忘れてしまい、バイクが左側に倒れ、自分も左側に転倒してしまった。転倒した際に車道と店舗の境の段差に左手をついてしまい、左手首を負傷した。	40	231	2	~ 999	500
2017	2	10~11	マンションのお客様宅に配達に伺ったが不在だったためそのまま箱を両手で持ちながら四輪車に戻ろうとしたところマンションの敷地内（タイル貼り）の部分（屋外）を歩いている際、雨で足元が濡れ	40	417	2	~ 999	500

			ていたため足を滑らせ後ろ側へ転倒し背中を強打した。				
2017	2	11~12	配達先アパートの外にある階段を下り、最後の階段を下りた際、腰にピリッと痛みが走った。その日は何とか業務を行い、帰宅した。右足が動かないぐらいの痛みがあった為、病院で診察を受け、椎間板ヘルニアを診断された。	42	413	19	500 ~ 999
2017	2	19~20	事業場3階事務所において配達物の押印作業中、処理済配達物のケースをケースカートに移す際に、自身の体をカートの前まで移動せず体を伸ばしてカートに乗せようとした為ケースの重みと不適切な姿勢により腰を痛めた。	62	921	19	—
2017	2	11~12	お客様宅に配達するため、バイクを停車させようとしたが、右手に力が入らなかったためブレーキが掛けられず、そのままバランスを崩して、左後方に背中から転倒した。後日別の治療のため病院で検査を受けたところ、左肋骨にひびが入っていたことが分かった。	42	231	17	100 ~ 299
2017	2	10~11	配達先の玄関前にバイクを停車しようとブレーキを掛けたところ、側溝（金属製）の蓋で前タイヤがスリップして右側に転倒した。地面とバイクの間に右足を挟まれた。救急車で病院に搬送された。足首を脱臼、ステップでふくらはぎを損傷し3針縫った。朝から雨が降っていたため路面が滑りやすい状況であった。	37	231	2	100 ~ 299
2017	2	11~12	10kgの米袋を両手で抱えて持ち上げた時に、腰のやや右側付近にピリッとした痛みがはしった。	60	611	19	1000 ~ 9999
2017	2	10~11	車庫において原付バイクに配達物を積み込み配達に出発するためバイクのサイドスタンドを外したところ、バランスを崩して倒れそうになり、バイクを支えた際に右足をひねって負傷した。	27	231	19	100 ~ 299
2017	2	17~18	配達を終え帰局するため、右折する際、右方の確認を怠り、停車車両の発見が遅れ、急ブレーキを掛けたが、前輪がロックしてスリップした。転倒した際右上半身を強打し、負傷した。	61	231	17	300 ~ 499

2017	2	11~12	二輪車で配達途中、配達のため停車しようとした際、サイドスタンドを左足で出したつもりだったが出ておらず、停車後そのまま左側へ倒れた。その時に左頬、左足脛を打撲し、頸椎捻挫と脳震盪を起こした。	51	231	2	100 ~ 299
2017	2	9~10	階段を下りる際、荷物を抱えていたため足元が見えず、その結果階段を踏み外して転落して右足を骨折した。	56	413	1	—
2017	2	11~12	信号機の無い交差点をバイクで直進するため進入したところ、右方から来た自動車と接触した。当方から交差点に入るまでには、フェンス、街路樹があり、右方の確認が不完全な状態で左方を確認し進入していた。接触時に当方社員はバイクごと転倒し負傷した。	45	231	17	100 ~ 299
2017	2	16~17	お客様宅で1時間半正座をした後、立ち上がった足がしびれその場に転倒した。左足を骨折した。	62	921	2	50~ 99
2017	2	11~12	バイクでの配達途中において、アパートの敷地から次の配達先へ向かうため右に進んだ際に、タイヤが滑ってしまい右側に転倒しそうになったので、右足で支え体勢を立て直したが、バイクの後部に付いているキャリーボックスがアパートのゴミ集積場に当たってしまい左側に転倒しそうになった。その際に、再度体勢を立て直したが、前方にあった車止めに前輪が当たりブレーキがかかった状態になり右側に転倒して胸を強打した。（アパートの敷地は雨で濡れていて滑りやすい状態であった。）	62	231	17	500 ~ 999
2017	2	12~13	配達途中（二輪）、交差点青信号で注意しながら右折していたところ、右方向から信号を無視してきた車両と衝突し、8~10m引きずられたものである。	33	231	17	500 ~ 999
2017	2	11~12	配達先でバイクを止め、サイドスタンドを立ててバイクから降りた際に、サイドスタンドが十分に立っていなかったためバイクが倒れてきた。そのためバイクを両手で受け止め踏ん張った時に腰を痛めた。	34	231	19	500 ~ 999

2017	2	18~19	配達用自動二輪車で配達先から戻る途中、片側一車線の直線道路で前方を走行していた四輪車がスピードを落としたため、当方も減速しようとしてブレーキをかけたところ、前輪がロックしてしまい転倒し受傷した。当日は雨の降り始めで路面は滑りやすい状況であった。	55	231	17	~ 299	100
2017	3	20~21	配達のため配達先アパート2階通路を歩行中、配達先隣家の犬の鳴き声に驚き小走りになった際、通路上の段差に躓き転倒し、小指を骨折した。	55	417	2	~ 299	100
2017	3	16~17	お客様宅へ配達後、バイクに戻り発進しようとした際、砂利道で後輪がスリップして左側に倒れそうになったため、立て直そうとハンドルを右に切ったところ、バイクが右側に転倒し、被災者の右足がバイクの下敷きになった。その際、バイクのステップと路面の間に被災者の右踝がバイクごと挟まれる形となり、自力で歩行不能となり救急搬送され、右中足骨第1から第4骨折と診断された。	57	231	2	~ 299	100
2017	3	14~15	配達先で車を降りて配達先の私道を歩いていたとき、民家奥の車庫の陰から鹿が目の前に飛び出してきたため、咄嗟に逃げようとしたところ、湿った泥道で足が滑り、右膝を地面に打ちつけ、右膝靭帯損傷を負った。	49	719	19	~ 299	100
2017	3	18~19	配達終了後、原付二輪車で片側二車線の路線道路橋の左車線を走行中、頂上から下りに入った際、凍結路面に前輪がふらつき始め、足を出して体勢を整えようとしたが、左側に転倒して左肩を強打し負傷した。	25	231	17	~ 499	300
2017	3	13~14	軽四輪車で配達作業中、集合住宅の2階に配達し階段を下りていたところ、右側に折れているところで左足を踏み出し、床についたときに膝に痛みがはしった。バランスを崩しそうになったが何とか体勢を直した。痛みがあったが帰局し、その後、左膝内側側副靭帯損傷および左膝前十字靭帯損傷の疑いと診断された。	25	413	19	~ 299	100
			試合前の練習の様子を取材しようとピッチ内で三脚を持ちながら移					100

2017	3	13~14	動していた際に、段差に気づかず転倒し、左足アキレス腱を断裂した。	29	417	2	~ 299
2017	3	10~11	バイクで次の配達先に向かう途中、前方を右折のため20m手前から右ウインカーを出して右折を開始しようとした際、後方から相手四輪車が追い越してきて接触し、右肩と頭を打って救急搬送された。	31	231	17	~ 999
2017	3	17~18	配達先敷地内で郵便受箱の前にバイクを止め、バイクにまたがったまま郵便物を入れようとしたところ、地面についた左足でバイクの重心を支えきれず、左下に倒れ込みバイクと地面に挟まれ、左足を負傷した。	19	231	2	~ 299
2017	3	11~12	被災者はバイクで配達中、敷地内でUターンした際に右側に転倒し、バイクのステップが右第2趾に当たり負傷した。	33	231	17	~ 299
2017	3	4~5	1階作業事務室で内務作業中、荷物を積んだパレットを移動させる際、パレットの動きが悪かったため勢いよく引いたところ、制御しきれずに車輪と床の間に左足小指を挟み骨折した。	39	362	7	~ 499
2017	3	11~12	荷物を運ぶローラーとローラーの間に荷物が引っかかっていたため、荷物を取ろうとした際に左手がローラーに挟まれて負傷した。	47	224	7	~ 999
2017	3	16~17	被災者はサイドスタンドを出してバイクを路上に止め、徒歩で配達した後、バイクに乗り直進しようとし、バイクをきちんと直立させる前にバイクが斜めのままスロットルを開けて直進しようとしたため、バイクが左右に振られバランスを崩し、右側に転倒し受傷した。	54	231	2	~ 299
2017	3	18~19	事業場内の区分作業場で、10~20kg程度の荷物をパレットから別のパレットへ移し替えている際に腰を痛めた。	21	611	19	~ 999
			2階フロアを通行している際に足元にあったケースに右足が躓き、				500

2017	3	17~18	転倒しそうになった際に右手を床についたところ、右腕を負傷した。なお、被災者は足元にケースがあることを認識していた。	65	379	2	~ 999
2017	3	16~17	配達のため、電動機付き自転車に乗務していた。走行中、隣車線から車線変更してきた四輪車に驚き、急ブレーキを掛けたため後輪がスリップし、肋骨を骨折した。相手側四輪車とは接触せず、四輪車はそのまま走り去った。	51	231	17	500 ~ 999
2017	3	12~13	片側2車線の幹線道路上、信号待車中の相手方駆四輪に気づきが遅れ、ブレーキが間に合わず、相手方チルド車後方に当方前部を激突させた。当方は軽度打撲、相手方は軽度のケガ程度である。当時、本人は集荷後の帰局途中で、安心感からボーっとしていた。	44	231	17	100 ~ 299
2017	3	16~17	X線検査装置付近の通路で、空のLRE7台を引きながら搬送中に、滑りが気になり、必要以上に足に力を入れたところ左足脛脛を負傷した。	49	611	19	1000 ~ 9999
2017	3	12~13	対面通行、片側一車線を青信号のため直進中に、前方交差点を徐行にて進入直後、相手四輪が突然右折を始めたため避けられず、相手四輪の右前方と自車二輪右側面が接触した。被災者は進行方向右側歩道へ飛ばされ、左踵を地面にぶつけ、右膝を車両と接触の際に受傷した。	48	231	17	300 ~ 499
2017	3	15~16	交差点を右折しようとして交差点中央付近で停止していたところ、信号が赤に変わる間際に対向車が止まったので右折を開始したところ、対向車線の先頭に止まっていた車が突然動きだし、あわててバイクのハンドル操作を誤り、転倒し負傷した。	30	231	17	100 ~ 299
2017	3	12~13	集荷後、帰局途中、片側3車線の幹線道路の左折車線で信号待ちのため停車していたところ、後続2台の追突事故による玉突きに巻き込まれ追突され、頸椎捻挫を負った。	41	231	17	300 ~ 499
2017	3	9~10	狭い路地を走行中、対向車がきたので前車両に続いて停車したところ、急に前車両がバックしてきたため、クラクションをならしたが相手車両は止まらず、そのまま当車両のフロントバンパー部分に衝	53	231	17	300 ~

			突した。				499
2017	3	16~17	配達のためお客様宅外階段を降りていた際、階段に右足が滑ってしまい、体勢を崩した状態で右足を負傷した。	28	413	19	100 ~ 299
2017	3	15~16	道路左側寄りを直進していた際、T字路左から道路を横切り、右側にある駐車場に駐車するためバックで進入してきた相手車両を避けきれず、右後方側面部分に衝突した。	43	231	17	300 ~ 499
2017	3	14~15	集荷作業中、集荷物を台車に載せ、重かったためスロープを後ろ向きに下っていたとき、急角度のスロープで雨も降っていたため足を滑らせ転倒し、台車が20メートルほど滑落した。スロープ下に駐車していた車と衝突して止まったが、その際に車と台車に挟まれ、体を強く打った。	45	417	2	100 ~ 299
2017	3	13~14	マンションで配達を行い戻ろうと階段を下っている時、2Fと1Fの踊り場であと2段という所で踏み外して転倒した。	44	413	1	100 ~ 299
2017	3	19~20	当方車両が被災場所の交差点を直進中、一時停止のある道路から停止せずに進入してきた相手車両が当方車両の左前角に衝突した。衝突の衝撃で当方車両が右方向にはじき飛ばされ、相手車両は交差点にあるカーブミラーに追突し、停止した。	52	231	17	50~ 99
2017	3	13~14	お客様宅に配達するため、隣接する道路に2輪を停車する際にタイヤが滑り、左側に転倒し、左足が挟まってしまった。	37	231	2	100 ~ 299
2017	3	14~15	社用車を運転していた際、合流しようとして交差点で一時停止していたところ、相手方車両に後方より追突された。	48	231	17	30~ 49
2017	3	12~13	配達中、砂利道にバイクを置いてポストに向かっていくとき、両足がつかず前方に転倒し、左膝を地面に打ちつけてしまった。	56	417	2	500 ~ 999

2017	3	15~16	配達のため社用バイクを止めようとサイドスタンドを立てたところ、不十分であったためバランスを崩し、右側に転倒し、右足を挟み、右足中足を骨折した。	43	239	2	50~ 99
2017	3	13~14	お客様対応の際、両手で荷物を持っていたため足元が見えず、ケースにつまずき転倒をして右膝を骨折した。	53	611	2	100 ~ 299
2017	3	0~1	供給口に青トレイを補充するため、トレイの載ったパレットを移動させていた際に、パレットと鉄柵との間に右手甲をはさみ打撲した。	45	362	7	1000 ~ 9999
2017	3	23~24	荷物を積み込む作業時に右足を踏ん張ったところ、右足ふくらはぎ付近がプチッと切れた感じを受け、痛みがはしった。	50	921	19	1000 ~ 9999
2017	3	16~17	業務に従事中、手すき時間を利用して片付けを行う為にロッカーへ行ったところ、足元に置いてあるさな板につまずき転倒し、全身を強打し、左三角骨を負傷した。	56	379	2	100 ~ 299
2017	3	13~14	小包区分作業の事前準備のため、たたまれたパレットを組み立てるため移動させようとし、パレットの背面を引っ張ったことにより、パレットが転倒し、支えようとした際に左手小指が引っ掛かり、左手小指を骨折した。	45	362	5	1000 ~ 9999
2017	3	10~11	区分機北側モニターの後方を通した際に、床の段差で左足首を捻った。	31	419	19	1000 ~ 9999
2017	3	18~19	発着場入口付近で、郵便物の取り戻し請求書の写しを郵便取り揃え台に貼りつけようとした時に一部鉄板の床の部分があり、そこにおいている郵便物のケースにつまずき腕から転倒し骨折した。	31	416	2	100 ~ 299
2017	3	15~16	配達後バイクに戻る途中の下り坂で、振り返った時に着地がうまくできずに足首を捻り、ひっくり返った。	0	417	2	50~ 99

2017	3	12~13	自動二輪車で配達作業中、地内の幅約1mの山道（コンクリート舗装）を走行中に、路上の落石にハンドルを取られ、道路右側側面に脱輪し転落し、バイクのハンドルに左脇を強打した。	42	231	17	~ 299	100
2017	3	16~17	自動2輪車で配達業務中、帰局のため、交差点を左折しようとしたところ、信号が黄色に変わった為、急ブレーキをかけたところ、雨で濡れていたためタイヤがロックし、右側に転倒し、左鎖骨骨折を負った。	28	231	17	~ 499	300
2017	3	20~21	一階の発着場で小包仕分けで、鉄パレットに積み込み作業で扉を閉めて出す場所に移動中に、いつもはパレットの内側を持つのに重かったため外側を持ち進行方向に他のパレットがあることに気付かず、そのパレットと掴んでいたパレットの間に右手の甲を強く挟んだ。	50	362	7	~ 499	300
2017	3	15~16	自動二輪にて配達中にバイクから降車し、配達先に投函後、バイクに戻ろうとした際に玄関前で滑って転倒する。当日は雨が降っており、滑りやすい状況であった。	39	417	2	~ 299	100
2017	3	10~11	送金したあと、横断歩道を渡ろうとした際、段差につまずき転倒した。	45	417	2	~ 299	100
2017	3	18~19	他の社員が集荷した着物をパレットへ積み込み作業を応援する為、L字型に折り畳んである鉄Ⅲ型赤パレットを発着台に運び、パレットを展開するために発着台で、中腰の姿勢で当該パレットを組み上げていた際、中板のストッパーがロックされていなかったため中板が落下し、右眼下瞼付近に接触し、右眼下瞼を裂傷した。	36	379	6	~ 999	500
2017	3	11~12	配達のため、バイクを停車しようとした際、右側方向から犬が吠えながら飛びかかってきたため、バイクごと左側へ転倒し骨折した。	53	231	17	~ 299	100
			被災者は小包配達担当であり、当日は午前に出勤し配達のために小包を積載していた時、腰に痛みを感じた。小包は80個程度で普段					100

2017	3	8~9	通りの数であり、重量のあるものでもなかった。痛みがひどくなかったため仕事を続けたが、その後、強い痛みを感じるようになった。	27	921	19	~ 299
2017	4	15~16	配達のため階段を上がっていたところ、突然階段踊り場の床が抜けて落下した。両肘で一時的に防いだが、体を支えきれず高さ3mから転落し、複数個所の打撲と擦傷を負い救急搬送された。骨には異常なく、頭部の打撲も認められなかった。	50	413	9	100 ~ 299
2017	4	20~21	12kg程度の重い荷物（飲料）を配達するため階段を一步上った瞬間に、お客様から急に声をかけられ、階段を下りるよう指示があったためすぐに下りようと右足を踏み出した際、捻った状態で着地し、そのまま転倒し負傷した（右足関節外側靭帯断裂）。	43	417	2	300 ~ 499
2017	4	15~16	配達先に向かうため、下り坂の砂利道を走行中にリアタイヤが轍にとられバランスをくずし、左側石垣に衝突し停止した。衝突の際、左足を車両と石垣に挟まれ、左足脛骨腓骨複雑骨折を負った。	29	231	17	100 ~ 299
2017	4	20~21	配達を終えて帰社するため、バイクで走行している時、路上に猫がいた。夜間で暗かったため、猫の1m手前まで気づかず、急ブレーキをかけたが間に合わず、猫とぶつかり右側に転倒した。	42	231	17	100 ~ 299
2017	4	15~16	配達途中、交差点に進入するため速度を10キロへ減速し直進したところ、直進車両の後方にいた相手車両が、突然右にショートカットして来て回避できず、バイクの前面に衝突し、バイクごと左に倒されて両膝を負傷した。	40	231	17	300 ~ 499
2017	4	9~10	キャスター付の棚（8段×4列）を移動する際にキャスターが滑り、勢いがついたため、左横にあった同じ保管棚に手を挟まれて負傷した。	58	419	7	500 ~ 999
		14~	1階発着口の8番線から10番線へ、運送便トラックに積載する銀色パレットを左手でけん引していた時、9番線で運送便トラックに積載しようと搬出作業をしていた運送便のドライバーが赤色パレット				500

2017	4	15	2台を同時に前方へ押し移動した結果、動線が交差してしまったため、左腕から肘にかけて赤色パレットの右前方と衝突した。当初は軽度の打撲のみと推測し業務を継続したが、痛みが治まらず、左肘を骨折していたことが判明した。	46	379	6	～ 999
2017	4	12～ 13	配達のためバイクで走行中、Uターンをし直線道路を走行していたところ、急にハンドルを左にとられ、バランスを崩して左側へ転倒した。	53	231	17	～ 999
2017	4	15～ 16	自動二輪車で走行中、道路左にある民家から右折しようとしてきた軽四輪車の右前方側面に衝突した。運転者は顔面から出血し、緊急搬送された。自動二輪車は左側に倒れ損傷し、また、相手運転者にケガはなかった。敷地出口はゆるやかな下り勾配になっている。	44	231	17	～ 299
2017	4	16～ 17	駐車場でお客さまの車が道路に少し車を出した所で動かなくなってしまい、通行の妨げにならないよう動かしたいので手伝ってほしいとの申し出があり、お客さまを含め3人で車を押していた際、膝に負荷がかかり負傷した。	45	231	19	～ 299
2017	4	12～ 13	団地にて自転車で配達の実験を行っていた。自転車には後カゴが付いており、中に配達物を積んでいた。自転車に乗車中、車止めと鉄柱の間を通り抜けようとしたところバランスを崩し、後カゴが車止めに接触した。その際に転倒し、尻もちをついたところ、自力で立ち上がることができなかった。	56	239	17	～ 499
2017	4	15～ 16	配達後、次の配達先に向かうためT字路を左折しようとしたところ、相手方自転車で乗車した中学生が右折をして来て避けた際に当方自動二輪車を倒した。その際に、当方が右膝及び左大腿部及び腰部及び左肩を挫傷した。	22	231	17	～ 299
2017	4	15～ 16	直線道路を自動二輪（110cc）で走行している際に左側民家から不意に猫が飛び出してきて前輪タイヤと衝突した。衝突した際にハンドルを取られ、バランスを崩し転倒した。	51	231	17	～ 299

2017	4	13～ 14	タワーマンションメール室前通路にて、通常郵便物の入った袋を両手に持った状態で徒歩にて配達作業をしていた。床に段差は無く滑り易い路面では無いが、足がもつれて転倒し、右大腿を強打した。その後引き続き配達作業をしていたところ、徐々に痛みが増し歩行困難となった。	58	417	2	500 ～ 999
2017	4	16～ 17	配達先ドア脇にある受箱に郵便物を配達後、バイクに戻る際に階段の段差を見落とし、左足を捻った。左足をかばうため右足を地面についたところ、右足太もも付近に激痛が走り、その場から動けなくなってしまった。	41	413	1	300 ～ 499
2017	4	12～ 13	屋上駐車場で販売を終え、乗って来た軽四輪車で駐車場から出ようとした時、軽四輪車で駐車場内を直進中、丁字路にさしかかった時、右側から右折して交差点に進入しようとした相手側車両が、一時停止せずに当社車両に接触した。（相手側運転手によると右折時に右側しか見ていなかったとのこと）	46	231	6	500 ～ 999
2017	4	15～ 16	郵便物を配達する際に、10段くらいの階段を上り、郵便受け箱に投函し、下る際に郵便物を見ながら降りていたため、5段目くらいから足を踏み外して下まで転げ落ち、右手をつき負傷した。	46	413	1	100 ～ 299
2017	4	17～ 18	窓口事務室にて蛍光灯の交換をした際、脚立から足を踏み外し落下し、右手首を骨折した。	60	371	1	1～9
2017	4	14～ 15	配達を終えバイクへ戻るときに右足に体重をかけた際に急激な痛みを感じ倒れ、立ち上がれなかった。なお、以前より右足股関節等に痛みを感じていた。	50	921	19	100 ～ 299
2017	4	11～ 12	通区訓練で移動する際、道路右側に止めていたバイクに乗ろうとサイドスタンドを上げバイクに跨がったが、道路が右に傾斜していたため、バランスを失い、右側に転倒し、縁石に右肩を打ち鎖骨を骨折した。	59	417	2	100 ～ 299
			1階チルド室前でチルドコンテナの搬送作業中に、柱を曲がったと				

2017	4	3～4	ころに1台ずつチルドコンテナを並べていた時に、後ろ向きで角を曲がったところ、左後方に置いたチルドコンテナに気づかなかったため、置いたチルドコンテナの角と搬送中のチルドコンテナの取手部分に左手を挟んでしまい左手の甲を負傷した（手袋着用）。	64	362	7	～ 999	500
2017	4	12～ 13	バイクでの配達を終え帰局するため、片側一車線の緩やかな登り左カーブを走行中、サイドスタンドが出たままになっていたのに気づかず走行し、スタンドが路面と接触し、バイクが右側に振られてセンターラインをオーバーし、対向車線から走行してきた相手車両の右前部と衝突した。	59	231	17	～ 299	100
2017	4	18～ 19	郵便配達のため自動二輪で走行中、道路を左折しようとした際、自動二輪の一速が吹けなくなり、バランスを崩して左足をつこうとした。その際、橋と柵の間のすき間に左足が入り、転倒して左足を骨折した。	50	231	17	～ 299	100
2017	4	12～ 13	配達先の直前の路上にバイクを止め配達を終え次の配達先に向かう際にUターンしようとしたところバランスを崩し、坂の下り方向に向かって右側に転倒し、右膝と右足首を負傷した。	37	231	17	50～ 99	
2017	4	16～ 17	T字路上で、原付二輪車に乗りT字路を左折するため停車していたところ、左前方から右折してくる自動車を認識していたので、自動車が右折するまでと待っていたところ、自動車が内回りして反対車線にはみだしてきたため回避することができず、衝突され転倒した。相手方は衝突するまで当方に気がついていなかった。	34	231	17	～ 299	100
2017	4	15～ 16	軽四自動車を運転し、集荷業務に従事していたところ、信号のある交差点で赤信号のため停車した時、後方の軽自動車が一度は停車したが、こちらが動く前に前進を始めて追突され、首を負傷した。	45	231	17	～ 999	500
2017	4	17～ 18	配達途中、幅2mの狭い路地から幅4mの優先道路へ（スピードは落としたが左右確認を怠り、停止線で停止をせず）進入したところ、左側から40km/hで西進してきた軽自動車と衝突した。当社バイクは5.5mほど引きずられ転倒し、社員は左足ひざ下を骨折した。	43	231	17	～ 299	100

2017	4	12～ 13	バイクで配達中、山間の少し右カーブした道路でよそ見をしてしまい、曲がりきれず山の斜面に突っ込み転倒し、右手首を捻挫した。	54	231	17	～ 999	500
2017	4	15～ 16	理容店へ配達後、次の配達先へ自動二輪で出発時に駐車場の車止めに気づかず、車止めに乗り上げてしまった。バランスを崩して右側へ転倒し、右足のかかとを車止めとバイクで挟み負傷した。	63	231	2	～ 299	100
2017	4	10～ 11	集荷の際、車からの下車時に腰を痛めた。痛みがひどかったが、得意先で25kg程の荷物を集荷時にさらに腰を痛める。後日に7～800個の集荷を行った際、業務終了時に痛みが走り、ヘルニアを負った。	54	921	19	～ 299	100
2017	4	21～ 22	3階作業場で小包の品名等点検作業中、パレットの上段に積載された約15kgの小包を両手で持ち上げようとしたところ、左腕に力が入らなくなり痛みが生じ、左肘と頸椎を捻挫した。	61	611	19	～ 9999	1000
2017	4	17～ 18	道路を配達業務の為に二輪車で北進中、左側停止車両の間から従業員が自転車で南東方向へ横断しようとして飛び出してきた為、急ブレーキをかけたが、左ハンドルに衝突し転倒した。	44	231	17	～ 299	100
2017	4	14～ 15	配達業務を終え、帰局途上、国道からの分岐点で自動二輪車で左方へ進入する際に左側へ転倒、顔面を負傷した。当該社員は、転倒前後の記憶がなく原因不明である。警察の現場検証によると山間部を吹く突風により、転倒したとおもわれる。	53	231	17	～ 299	100
2017	4	14～ 15	お客様窓口にて接客中、後方にある荷物を取ろうとしたところ、足元にあったゴミ箱につまずきそのまま転倒した。	37	911	2	～ 299	100
2017	4	11～ 12	幅約4mの小さく曲がりくねった道路上を配達のため自動二輪車で時速約30kmで走行中、道路左側の山肌から道路を塞ぐように反対側のガードレールの上に倒れ掛かっていた竹に気付くのが遅れ、衝突し転倒した。	51	231	17	～ 299	100

2017	4	12～ 13	配達先敷地内にバイクで進入し、路上に出ようとしたところ、濡れた未舗装路面で後輪タイヤがスリップし、バイクもろとも左側に転倒し左足を負傷した。	49	231	18	～ 299	100
2017	4	18～ 19	自動二輪車で下り坂を走行中に道路上の砂利でタイヤが滑り、橋の落下防止コンクリートに前輪が接触してハンドル操作不能状態となり、高さ2メートルの川下にバイクと一緒に左側から落ちた。水の影響はなかったが、左腕を強打し動けなかった。	31	231	17	～ 299	100
2017	4	3～4	小包区分作業中、パレット容器に荷物を積み込む作業が終了し、パレットの上下4枚の扉を閉めるため、まず上段の左右扉を閉め、続いて下段の左右扉を閉めようとしたが扉の歪みのせいで閉まらなかったため、力を入れて閉めようと左手で上段の扉の左右扉の境目をもって右手で力を入れて下段左右扉を押したところ、左人差し指が左右の扉の間に挟まり負傷した。	27	362	7	～ 999	500
2017	4	13～ 14	配達の際、郵便受け場へ郵便物を入れようとしたところ、お客様宅の飼い犬がチェーンがはずれた状態であり、突然右手小指にかみつかれた。	58	719	99	～ 299	100
2017	4	23～ 24	発着台において、パレット置場へ移動させた5台の折りたたみパレットを整理するため、外側のパレットから1台ずつ動かしていたところ、パレットがわずかな床の段差でバランスを崩し、残り4台にひっかかって社員の方へ倒れかかってきたので、とっさに支えようとしたが支えきれず、身体の左側とお尻を強打する。	55	522	5	～ 999	500
2017	4	11～ 12	小包配達業務中、ホテルの業者用発着口で、小包の配達するため約1mの高さの発着口へ階段で上がり、複数ある小包の内、1個を配達し、他の小包を取りに戻ろうとした際、階段付近の所の発着口から誤って落ちた。	35	413	1	～ 299	100
2017	4	13～ 14	配達業務中、信号の無い十字路を走行中に、一時停止のためにブレーキをかけたところ、フロントタイヤがロックしスリップ転倒した。当時は雨が降っていた。	46	231	17	50～ 99	

2017	5	12～ 13	二車線の道路を配達先へ向かうためバイクで左側走行中、前方の自転車が歩道から路上へ飛び出し右側走行してきた。自転車を避けようと左折し、歩道を越えてお客様宅の駐車場に進入したがタイルの上にコケが生えていたためブレーキを掛けた際滑って右側に腰から横転し負傷した。	39	231	17	～ 299	100
2017	5	11～ 12	被災者は配達先敷地内にバイクを止め、歩いて配達先に配達を終えた際、右手甲に痛みを感じた。虫等の姿は確認できなかったが、手袋を外してみると、痛みのある箇所が赤くなっていた。そのあと徐々に腫れがひどくなってきた。	42	719	12	～ 299	100
2017	5	10～ 11	団地で配達中、集会ポストへ配達し、バイクまで戻ろうと段差を降りたところ、更に低い段差があることに気付かず、バランスを崩し転倒し、右足首を痛めた。	48	418	2	～ 499	300
2017	5	12～ 13	配達業務中、アスファルトの路面上に土が溜まり、ぬかるんでいる状態に気が付かずに走行したところ、リヤタイヤがスリップして転倒した。転倒した際、バイクが右側に倒れ右足親指を骨折し、左手首及び右膝を打撲した。	37	231	17	～ 299	100
2017	5	12～ 13	被災者は、配達先に配達物を届ける為徒歩で入口に入ったところフロアマットに躓き転倒し、右胸部を負傷した。	61	417	2	～ 299	100
2017	5	10～ 11	バイクでの配達中、配達先受け箱付近が砂利道になっており、バイクにまたがったままスタンドを立てようとした際、砂利で左足が滑り、倒れないように支えたところ背中がポキッと痛みが走った。	55	231	17	～ 999	500
2017	5	16～ 17	当局社員が次の集荷先へ向かう途中、信号と渋滞のため停車していたところ、後続の車両が追突し、当局社員の前に停車していた車両と合わせ3台の玉突き事故となった。	57	231	17	～ 299	100
			配達するため敷地内にバイクを停車し、エンジンを切った時にギヤを入れたままだったことに気が付き、エンジンを再始動するためサ					

2017	5	14～ 15	イドスタンドを立ててバイクに座りエンジンをかけた。その際に無意識にサイドスタンドを戻していたが、そのことを確認せず降りたため、バイクとともに左側へ転倒した。左足をバイクと地面（コンクリート）に挟まれ強打し骨折した。	50	231	2	500 ～ 999
2017	5	16～ 17	帰局途中、見通しの悪い交差点で左右確認したにもかかわらず、右から直進してきた車に出合い頭に衝突し転倒した。	43	231	17	100 ～ 299
2017	5	14～ 15	片側一車線の道を原付二輪車で走行中（配達業務を終えて帰局中）、後方から来た車を先に行かせる為に左に寄った際、くしゃみが出た。その際に原付二輪車の左ステップが縁石に接触しバランスを崩し転倒した。転倒した時に原付二輪車のキャリーBOXが左かかとの上に当たり、挫創した。	38	231	17	300 ～ 499
2017	5	11～ 12	マンションの配達終了後、早足で階段を降りた際、踊り場から上三段目辺りで躓き、右足を捻りながら着地したため、右足首を受傷した。	27	413	1	300 ～ 499
2017	5	22～ 23	当局3階南側供給口付近で、供給作業中、鉄製V型（グレー）パレットの手前中棚を右手で跳ね上げて、左手を添えて格納しようとした際、支えていた右手が滑り、中棚が落下して、パレット側面の格納ストッパー（横棒）と中棚レールに、レール内側の位置にあった左手中指が挟まれた。	48	379	4	1000 ～ 9999
2017	5	12～ 13	午前中の配達を終えて、自転車で帰局しようとしたところ、雨で濡れていた、タイル状の地面の上で自転車がスリップして転倒した。その際、自転車に左足が挟まれ、骨折・靭帯損傷し、歩行が出来なかった。	24	362	2	300 ～ 499
2017	5	7～8	窓口において、被災者は不在通知書を持参のお客様対応のため、跳ね上げ式カウンターの左横に置いていたバーコードリーダーを右手で取ろうとした。その時、跳ね上げ式カウンターは開いており、	59	391	6	100 ～

			入口自動ドアを開けた社員がお客様のために跳ね上げ式カウンターを閉めようとした。その際、バーコードリーダーを取ろうとした被災者の右手薬指先にカウンターがぶつかり負傷した。					299
2017	5	17～ 18	業務中、就業場所内1階事務室にて区分作業中、パレットを使用するため、畳んであるパレットを開いたところ、下板のストッパーが掛かっていなかったため、下板が落ちてきて、左大腿部に倒れてきた。	42	362	4		300 ～ 499
2017	5	12～ 13	お客様宅に配達をしようと徒歩で玄関へ向かっていたところ、近所の人からリードを付けられようとしている最中の犬がいて、その犬がリードを付けられる前に被災者に気付き、近所の人を振り払って被災者に対して回るように向かって行き、左足首上部を?まれた。	50	719	90		300 ～ 499
2017	5	16～ 17	平地の民家が建ち並ぶ住宅街で配達を行っている際に、側溝に設置してあるグレーチングの隙間に気付かず足がはまって落ちて、足首靭帯損傷を負った。	56	417	1		300 ～ 499
2017	5	16～ 17	バイク走行中（業務中）の当社社員がカーブに差し掛かった時、対向から来た相手方車両（四輪）が予想より内側に切れ込んできたため、危険を感じた当社社員が回避しようとしたところバランスを崩し、転倒して投げ出されて負傷した。	43	231	17		300 ～ 499
2017	5	13～ 14	当社社員が二輪で見通しの悪い下り坂カーブを走行中、対向車線を曲がって来た10tダンプカーの右側面に衝突し、転倒して負傷したものである。被災労働者本人によれば、相手方がセンターラインより内側に切れ込んで来て避けられなかったとのことである。	43	221	17		300 ～ 499
2017	5	11～ 12	配達先にバイクを止め、徒歩で玄関左にあるポストに配達をするため4段の階段を上った。配達後に階段を降りて行く時、打ち水で濡れていた階段（4段目）で足が滑り転倒し、左足首関節を脱臼し、左腓骨及び左頸骨を骨折した。	52	413	2		100 ～ 299
			当事者が配達作業を終えて帰局する際、付近の緩い下り坂右カーブを時速40km位で走行中、前方に対向車が見えたため減速しようとしてブ					100

2017	5	16～ 17	レーキを掛けたところ後輪がロックし、車体がふらつき左側に転倒した。転倒時に左肩を地面に打ちつけ、左足が車両の下敷きになったものである。	34	231	17	～ 299
2017	5	16～ 17	就業先1階作業場から、軽四車両へ向かう際に発着場の階段を使わずに発着から飛び降りようとし、発着の台車止めに右足先を引っ掛け、地面へ右膝より転落し強打した。	42	418	3	～ 499
2017	5	15～ 16	自動二輪車で配達を終え帰局途中、運転操作を誤り、道路脇の縁石に接触してバランスを崩し、転倒して負傷した。	54	231	17	～ 299
2017	5	19～ 20	ロールパレットケースを作業場へ移動させようとしたとき、区分済みの配達物が積載された台車があり、狭かったが奥からケースカートに乗ったロールパレットケースを置き場から移動させようとした。しかし手前の空のケースカートにロールパレットケースが当たり、空のケースカートが自分の足元に動きそれに躓き、体のバランスを崩し転倒した。	50	611	2	30～ 49
2017	5	14～ 15	運送車両へ積載するため運送員が引っ張っているアルミパレットを後から手で持ち押していた。発着出入口を出るためにパレットの向きを右向きに変える際、左手の指輪がパレットに引っ掛かったため、運送員がパレットを引いたところ、そのまま左腕が引っ張られるような状態になり負傷した。	49	362	7	～ 499
2017	5	15～ 16	配達業務のためバイクに乗車し走行していた際、次の配達先へ向かうため勾配のある私道（中央に階段）へ左折進入したところ、落下物に乗り上げ前輪が浮き操舵不能となった。運転者は車両ごと右後方へ転倒し、左眼瞼と左肩を打った。	23	231	17	～ 999
2017	5	15～ 16	配達業務のため自動二輪にて片側一車線の道路を走行中、右折するためにウィンカーを点灯させ、センターライン付近に停車していたところ、後方を走行していた軽四輪が当方に気付くのが遅れ、当方	33	231	17	～ 499

			車両の後部にノーブレーキで衝突した。				
2017	5	11～ 12	当方車両が見通しの悪い交差点を多段階一時停止を行い徐行にて直進中、右から相手側車両が一時停止を無視して直進してきたため、当方車両は停止したが、当方車両右側と相手側車両正面が衝突した。	38	231	17	100 ～ 299
2017	6	16～ 17	局内掃除中、事務机に上がり、窓ガラスとブラインドを水拭きして、事務机から右足で床に降りようとしたところ、椅子があったのに気づかず右足を椅子に引っ掛け、左足の踵から床に落ちた。	58	379	1	100 ～ 299
2017	6	14～ 15	お客様宅に配達に向かう際、敷地内の砂利スペースに駐輪した。配達完了後、Uターンをして次の配達先に向かおうとした時、後輪がスリップし転倒した。自動二輪車が社員の左足に覆いかぶさり、負傷したものである。	26	231	17	300 ～ 499
2017	6	15～ 16	原動機付二輪車で信号機のない十字路交差点を右折する際、一時停止し左右確認していたところ、右方から直進してきた相手方乗用車が衝突した。	36	231	17	300 ～ 499
2017	6	12～ 13	当方二輪車は、T字路交差点を右折しようとしていた。当方はウィンカーを出し、右折する手前で後続の相手車をバックミラーで確認した。相手車との車間距離があったため、T字路交差点内で右折を開始した。その際、当社二輪車を後続していた相手四輪車が当方を追い抜こうとし、当方が右折を開始した際に相手車と接触した。	39	231	17	100 ～ 299
2017	6	14～ 15	窓口事務室カウンターでお客様対応中、後方キャビネットへ書類を取りに行こうとした際、OA機器接続ケーブルが外れていたため、右足をケーブルに引っ掛け転倒し、負傷した。	56	379	2	100 ～ 299
2017	6	22～ 23	倉庫内でチルド用ケースの整理をしていた際、天井から垂れ下がっていたコードをよけようと、コードを手で上げたところ、コードを支えていた赤パレットが後部から倒れてきて、右足小指を打撲した。赤パレットはL字に置まれており、その上にコードが載せられていて、不安定な状態であった。	73	379	5	500 ～ 999

2017	6	15～ 16	当方社員が他社員の配達応援のため直進中、T字路に差し掛かるところで、左から相手車両が交差点内まで進入してきた。前方車両が避けたため、当方も右に避けようとしたが、相手車両が動き出したことから避けきれず、衝突した。その衝撃で右方へ転倒し、当方二輪車の左前ウィンカー、及び左右ステップ、ギアの損傷が生じたことと、転倒した際に右足土踏まず付近にステップが刺さり負傷した。相手車両は右前ヘッドライト、及びバンパー、ナンバープレートが損傷したが、怪我はなかった。	41	231	17	100 ～ 299
2017	6	14～ 15	折り畳んであった鉄製パレットを組み立てようと、フレームロックを外し広げたところ、床板固定用フックが劣化しており、床板が倒れて頭部にぶつかり、頭部打撲挫創により、全治1週間と診断された。	39	379	5	500 ～ 999
2017	6	14～ 15	バイクで配達途中、幹線道路から右折して脇道に入ったところ、家の敷地から出て来た軽四輪車両と衝突し、負傷した。	53	231	17	500 ～ 999
2017	6	14～ 15	配達途中、バイクで青信号の交差点に進入するため前方の軽四輪に続き直進していたところ、対向車が突然ショートカットして右折してきて、バイク右後方に衝突し、その衝撃でバイクごと左に倒され負傷した。	42	231	17	300 ～ 499
2017	6	11～ 12	被災者は営業のため、お客様宅へ向かっていた。走行中、風に煽られてヘルメットシールドが外れ、そのことに気を取られて急ブレーキをかけたところ、左側へスリップし転倒した。その際、左肘・左膝・右わき腹を打撲し、両手・両足に擦過傷を負った。 (原動機付き二輪車にて)	46	231	17	300 ～ 499
2017	6	12～ 13	バイクで配達中、配達先へ到着し、バイクを降りようとした際、右腕上腕部に激痛がはしった。	59	921	19	1000 ～ 9999

2017	6	14～ 15	配車先に向かうため自動二輪車で直進中、信号機のある交差点において、右斜め前を走行していた軽ワゴン車が左折を開始したため、相手車両の左前部に接触し、双方に物損、当方が転倒し負傷した。	28	231	17	～ 999	500
2017	6	1～2	配達物を載せているロールパレット（アルミ）を搬送中、エレベーターに乗せるために方向転換した際、下方を注意していなかったため、ロールパレットのタイヤが足に乗り上げ、左足小指を骨折した。	44	362	7	～ 9999	1000
2017	6	13～ 14	職場から原付バイクで帰宅途中、交差点右折後の直線道路上で前方を走るバスに気をとられ、道路の左端（道路と砂利の境目）を走行していたため、砂利との段差にハンドルをとられ、体勢を崩して砂利道に落ち、その脇の壁とバイクの左前方が接触し右に転倒し、バイクの下敷きになり負傷した。	55	231	17	～ 999	500
2017	6	13～ 14	事務室内にて小包を仕分け中、約30kgの米袋を両手に持ち、パレットの中にあるケースに入れようとした。米袋を持った右手が滑り米袋を落とした際、ケースと米袋の間に右手を挟み、右手甲部分を負傷した。	51	611	4	～ 299	100
2017	6	10～ 11	被災者は配達先へ向かうため、片側2車線の直線道路の左側車線をバイクで走行していた。信号のある交差点に直進で進入しようとしたところ、相手方四輪車が対向車線から交差点を右折しようとしてきたのに気づくのが遅れたため、交差点内で衝突し、左側へ転倒した。	62	231	17	～ 999	500
2017	6	9～ 10	小包の仕分け作業をしていた。午後の配達分を載せたパレットを移動させようとしたところ、見た目より重量があり、思いきり引いたところ勢いよく動いてしまい、パレットを掴んでいた右手が、後ろにあったパレットと挟まれるようにぶつかったその時、右手の人差し指が切れてしまい、出血が止まらなかった。	63	362	7	～ 499	300
			住宅街の路地を二輪車で配達中、住宅の塀沿いに左折するため、交差点手前で一時停止し、再度、発進し走行したところ、路面に砂利					100

2017	6	16～ 17	がある場所でブレーキ操作をしたため後輪が滑り、慌ててハンドルを右に切ったところ、そのまま車両ごと転倒した。左足首が二輪車の下敷きになり怪我をしたものである。	21	231	17	～ 299
2017	6	11～ 12	発着口にて集荷終了後、軽四輪車のバックドアを閉めて、運転席に戻ろうとした時に転倒した際、左手から地面に手をつき体重を支えたため、左手首を負傷した。地面はコンクリートで、特に障害物等はない。	38	417	2	500 ～ 999
2017	6	20～ 21	1階ベルトコンベア第一吐出口付近で、積載パレットを移動させ始めた際、他の吐出口（シュート口）を囲むパレットに右手甲をぶつけ、打撲した。患部が腫れて痛んだため通院後、休業に至る。	64	362	3	1000 ～ 9999
2017	6	14～ 15	建物の裏口にて、建物南側洗面所の用済後、体勢を崩したため、コンクリート階段から足を踏み外し、コンクリート基礎に強打し、下の道路に落ちた。その際、顔面と肩の横を打ち裂傷、及び出血し、前歯を折った。	65	413	1	1～9
2017	6	17～ 18	集荷作業中、構内の冷蔵庫前に1t車を駐車しようとしたところ、他社の4t車位の車両が駐車していたため、普段の駐車場所と違う他社車両の隣に駐車をした。普段は、冷蔵庫前に駐車して、冷蔵庫から荷物を取り出して車両に積み込みを行っていた。今回は、当社車両から冷蔵庫へ行き、冷蔵庫のドアを右手で開け、120サイズの荷物を両手で取り出した。この時、右手は荷物の下から支えて持ち、左手は荷物を抱きかかえるように外側に回していた。右開きを開けたドアを閉めるため、荷物を両手で持った状態で、左手の肘を扉に押し当てて閉めた時、左手小指がドアのロック部分に挟まり、骨折してしまった。	42	418	7	500 ～ 999
2017	6	10～	車、人がいない幅3mの舗装道において、訪問営業を終え、帰社するため自転車を運転中、見通しの良い直線道路（交通量なし）にて、閉じている傘を自転車車体に掛けていた。その後、振動等で	42	362	2	1～9

		11	傘が外れ、前タイヤスポークに挟まり、タイヤがロックして転倒した。道路に着地した際、左膝を強打し、受け身をとるため手をついた際に両手も負傷した。				
2017	6	11～ 12	雨の中を配達作業中、道路で突然突風があり、配達用靴に被せてあった雨具が風に煽られて右側（対向車線側）に舞い上がった。危ないと思いフットブレーキ及びハンドルを左側にきった際、スリップ転倒した。その際にバイクの右側へ投げ出され、右腓腹筋筋挫傷（肉離れ）をした。	28	231	17	50～ 99
2017	6	12～ 13	配達のため駐車場内へ進入しようとして左折したところ、タイヤが滑り左側へ転倒した。その際、両手を地面につき、左膝を地面に打ちつけられ、転倒した二輪車のキャリアボックスが左膝の上にのしかかり、負傷した。	20	231	2	100 ～ 299
2017	6	18～ 19	道路を配達のためバイクにて走行中、ギアチェンジをしようとした際にステップから足が滑り、つま先が地面に接触し、足を捻った。	63	231	17	100 ～ 299
2017	6	14～ 15	社員は、相手方車両の後方を軽四自動車で行っていた。相手車両が点滅信号の交差点を通過し、停止したので、後ろで停止したところ、相手方が急にバックしてきて衝突された。	40	231	17	500 ～ 999
2017	6	8～9	被災職員が、遠方から到着した大型トラックの運転手の荷物を回収するため、運転席側から座席に登り、当荷物を探していた際、誤って運転席から落下し、約3m下のアスファルトに倒れ、頭部を負傷した。	52	221	1	1000 ～ 9999
2017	6	3～4	就業場所にて、パレットの下段に荷物を積載しようとした際、中棚に頭をぶつけ、首がむち打ちとなった。（ヘルメット着用）	55	362	3	1000 ～ 9999
2017	6	8～9	配達前の準備中、大物のファイバーを持ち、下へ下ろす時に力が加わって、左上腕部を負傷した。	47	611	19	100 ～ 299

2017	6	18～ 19	作業場にて配達物を機械処理している際、その機械で左手中指を挟んで負傷をしたが、大したことはないと思い、絆創膏を貼ってその後も何日か作業をした。後日、同様の作業中に、同じ左手中指をまた機械で挟み、今度は爪が剥がれたので、その日は最後まで勤務をし、翌日に病院へ行った。	59	169	7	～ 499	300
2017	6	16～ 17	お客様宅へ配達をし、バイクに戻ろうとした時に、お客様宅門の前にあったマットに右足をとられ尻もちをついた。その際に腰に強い力がかかり、第十二胸骨を圧迫骨折した。	42	417	2	～ 299	100
2017	6	15～ 16	客先ポストに配達して、次の配達先の配達物を手に持った状態で足元を確認していなかった為、階段を踏み外して左側へ転倒した。	60	413	1	～ 499	300
2017	6	12～ 13	営業のためお客さま宅を訪問した際、玄関先の庭石（飛び石）から足を踏み外し、右足を捻った。	55	418	19	1～9	
2017	6	12～ 13	配達中、細い路地（真ん中がアスファルト）を走行中、前方に人がいたため避けようとした際、前日からの雨によって、グレーチングが濡れていたためバランスを崩した。倒れないように踏ん張ったが踏ん張りきれず、左側へ転倒した。転倒した際、バイクのハンドル及びミラーにより左胸を強打した。	46	231	17	～ 299	100
2017	6	17～ 18	バイクに配達物を積み込み、乗務しようとしてスタンドを下ろし、バイクを出す際にバイクが揺れて転んでしまい、左肘を伸展骨折した。	35	231	17	～ 299	100
2017	6	15～ 16	バイクで走行中、後部キャリーボックスが外れてバイクが転倒した。（本人は転倒していない。）転倒したバイクを起こそうとして、腰に痛みを感じた。	24	231	19	～ 299	100
2017	6	6～7	到着したチルドコンテナを開けた際に、積荷のビール樽がドアから脱出してきて床面に着地した。その際、左足親指の上にビール樽が乗り、骨折したものである。尚、チルドコンテナの荷積み状況	51	611	4	～ 499	300

			については、外部から見ることは出来ない。				
2017	6	11～ 12	フラットソーター側ケースラインから、仕分け済みの追跡配達物 ケースを発送する作業中、両腕と両手を痛めた。	25	611	19	1000 ～ 9999
2017	6	8～9	朝の通勤途上において、社員通用口外側階段を上がる際、階段を踏 み外して転倒したものである。	60	413	2	10～ 29
2017	6	11～ 12	発着場において、停めてあった車に乗り込もうと、発着場から地面 に降りようと左足を発着場の端に付いているゴムに足を掛けて降り ようとした際、滑って地面に着地した時に左足を捻って力が掛か り、骨折した。	61	418	1	100 ～ 299
2017	6	10～ 11	配達のため機動車を停止させ、キャリーボックスから配達物を取り 出そうとしたところ、直前に配達したお客さま宛の配達物をお渡し していないことに気が付き、配達物を手に持ってお客さま宅に戻ろ うとした。雨に濡れて滑りやすくなっている退避駐車スペースを 小走りで横切った際、足が滑って転倒し、配達物を手に持っていた ため受け身がとれず、背中から着地し、緊急搬送された。	46	417	2	500 ～ 999
2017	6	14～ 15	被災者は被災当日、自動二輪車で配達をしていたところ、信号機の ない交差点を通過しようとして、止まれの表示があったので、一旦停止 をし右左を確認したところ、左側からトラックが進行しているのに 気付いたが（確認距離は不明）、行ける判断し進行したところ、左 側から直進してきたトラックと衝突し、負傷したものである。そ の後、被災者は救急車により病院に搬送された。	57	221	17	50～ 99
2017	6	17～ 18	配達を終え帰局していた際、舗装状態も悪く、細く傾斜のある道路 を走行していた（時速30km）。前方から来た車両を発見し、急ブ レーキをかけたところ後輪がロックし、左斜面に衝突し、左上腕骨 部分を強打した。	25	231	17	50～ 99
2017	6	7～8	3階の予備室に保管していた配達物積載の横進パレットを2階の事務	64	362	7	500 ～

			室へ移動させる為引いていた際、左足を誤って轢き骨折した。					999
2017	6	16~17	事業場内倉庫の書棚（高さ2m×幅1.5m程）に書類が入ったダンボール（縦13cm×幅20cm×奥行40cm）を並べて保管している。このダンボールのうちの1つを正面から右手で掴み、引っ張り出したところ、右手の平から肘にかけて激しい痛みがして、屈筋を断裂した。ダンボールの重さは、1kg~10kg位であり、見た目では判別することは難しい。	55	921	19	~	100 299
2017	6	17~18	自動二輪車で配達業務に従事中、交差点手前に止まっていた軽自動車の後ろで停止していたところ、前方の車が突然バックしてきて追突した。相手軽自動車は、右方からマイクロバスが左折してきたため、慌ててバックしたが後方を確認していなかったため、当方の自動二輪車に気づいていなかった。	37	231	17		50~ 99
2017	6	11~12	当事者は県外から到着した航空コンテナを取り回し、荷物を供給する作業を行っていた。航空コンテナの向きを切り替えし、供給口に移動させようとしたコンテナを押した際、床が濡れているのに気付かず、力を入れた瞬間に足が滑り転倒した。その際に右肩を床に強打したことにより負傷した。	51	416	2		500 ~ 999
2017	6	19~20	当事者は、県外宛ての荷物を区分する小包区分機のシュート口にて、流れてきた荷物をパレットへの積み付け作業を行っていた。当事者は、荷物の流れを確認するため、メインレーンに近寄った際に、誤って右手が当該レーンに接触し、そのままベルトに巻き込まれ、接合部分に挟まれた。その際に右手の指を負傷した。	27	224	7		500 ~ 999
2017	7	12~13	美容室に配達し、店から出ようとドアを開けようとしたところ、店内にいた子供が後からドアに向かってきたので、店の外に出ると思い、子供がドアに挟まれないように左手でドアを押さえつつ、方向を変えてドアを押さえようとしたところ、出口前の段差になっているところで左足を踏み外し捻った。そのまま配達を続け、午前	60	413	19	~	100 299

			の配達を終え帰局し統括に報告。痛みがあった。左足首ねんざと診断された。				
2017	7	10~11	集配業務のため、信号のある交差点を自動二輪車で直進中、対向車線で右折待機していた相手車両が右方を確認しないまま右折したため、当方自動二輪車の右側面に接触し、右足を負傷した。	45	231	17	300 ~ 499
2017	7	11~12	リフォーム工事現場で窓枠交換作業をしていた。片手に工具を持って窓枠に手をかけたところ、朝つゆで足場が濡れていたため、すべて約1.5m下に落下。足場の一番下のパイプに跨いで落ち負傷した。	30	231	17	500 ~ 999
2017	7	13~14	午前の配達を終えて帰局途中、左折して一方通行道路に入ろうとした際、道路左側から横断しようとして飛び出してきた自転車を発見し、衝突を避けようとハンドルを左に切ったところ、バランスを崩し転倒、負傷したもの。	18	231	17	300 ~ 499
2017	7	12~13	二輪車での集配業務中、路肩にバイクを止め、徒歩にてお客様宅へ郵便物を配達。配達後、バイクへ戻ろうと敷地から歩道へ出た際に、歩道を走行していた自転車と衝突し、転倒した。	49	231	17	300 ~ 499
2017	7	11~12	相手方自動車が駐車場から左折するため、歩道上と駐車場で切り返しを行っていたところ、当方自転車が通りかかり、相手方自動車の後部に接触、右側に転倒し負傷したもの。	58	362	17	500 ~ 999
2017	7	15~16	郵便配達のため、自動二輪車に乗車中、信号のない十字路交差点で、左側から一時停止標識を無視して交差点に進入してきた相手車両に接触され負傷した。	38	231	17	500 ~ 999
2017	7	11~12	郵便物配達時、当方自動二輪車がT字路交差点の一時停止ラインで停止している時、左側道路から内回りして右折してきた車両に正面衝突され負傷した。	36	231	17	500 ~ 999
2017	7	13~14	二輪で次の配達先に向かい砂利道を時速20キロで直進し、T字路手前でブレーキをかけたところ、前タイヤが砂利にとられ、バランス	19	231	17	50~ 99

			を崩し転倒。右膝蓋骨骨折および右足ふくらはぎを挫傷した。				
2017	7	11~12	バイクで走行中、信号の無い十字路を通過する際、左から進入してきた車両の発見が遅れ、急いでハンドルを切ったが避けきれずに衝突し負傷した。	21	231	17	300 ~ 499
2017	7	13~14	バイクで郵便物の配達途中、十字路交差点を青信号で直進しようとしたところ、右折しても間に合うだろうと判断して右折を開始した対向の相手方乗用車と衝突、転倒して負傷した。	41	231	17	300 ~ 499
2017	7	14~15	バイクを走行中、意識を失って転倒。右鎖骨骨折、右脇腹打撲を負ったもの。	44	231	17	1000 ~ 9999
2017	7	9~10	1軒目の配達先に向かう途中、二輪車でトラックの後方を走行していたところ、信号機のない交差点で右側から出てきた左方確認を怠った相手方の自動車の正面と当社社員の右側面とで衝突。相手方は一時停止はしたものの、トラックの後方の二輪車に気付かず交差点に進入したもの。	62	231	17	300 ~ 499
2017	7	10~11	バイクに乗り、郵便局から配達先へ向かうため、交差点を直進中、前方を走っていた自動車が左折しようとして急停止し、それを避けるため急ブレーキをかけたところタイヤが滑り左に転倒。	43	231	17	300 ~ 499
2017	7	18~19	集荷作業中、約30kgの荷物を台車で車まで運び、最後の集荷だったため、後部荷台の一番上に持ち上げた。その際、右のお尻に痛みを感じが、その日は一時的な痛みと思い、最後まで仕事を続けた。翌日朝、右太腿から右踝まで痺れと痛みが出て、治療を受け、腰椎捻挫、仙椎関節炎の診断が出たもの。	60	611	19	1000 ~ 9999
2017	7	10~11	マンションへ小包の集荷に行った。小包は玄関の手前側と奥に2個置いてあり、1個目を台車に乗せ、2個目を台車に乗せるために手前に引き寄せようとしたところ、腰に痛みを感じた。どうにか集荷し、ひとまず郵便局に戻ったが、痛みがひどくなってきた、腰部捻挫と診断された。	43	611	19	300 ~ 499

2017	7	3~4	B1階中央エレベーター前に横向きで置かれていたCRBの向きを直して、エレベーター（2号機）に乗せようと思いきり引っ張って斜めに移動した際に、横に置かれていたチルドコンテナの存在を失念していたため、CRBの角とチルドコンテナの角に右手甲を挟み負傷。CRBが満載の状態で重く、タイヤの調子が悪かった。	51	379	7	~ 999	500
2017	7	15~16	配達のため、上り坂途中にバイクを停車させようと思いがたまま車体を左側に傾けたところ、積載している郵便物の重量により転倒しそうになり、左足で踏ん張った際に左足を負傷した。	46	231	2	~ 299	100
2017	7	12~13	現場で地上から足場に移動する時、材料（瓦5kg）を運ぶ作業中、地上から高さ1メートルの足場に足をかける時に足が滑り、背骨を骨折した。	40	611	19	~ 499	300
2017	7	5~6	荷受場で折りたたんだ状態のカゴ車を所定の位置に戻そうとした際、強風でカゴ車（縦45cm×横110cm×高さ165cm、重さ20kg）が倒れ左足小指を強打し骨折した。	54	229	19	~ 9999	1000
2017	7	15~16	宴会調理メインキッチンにて、ホテル内各レストランに用意する味噌汁、コーンスープ、冷やしそばなどを準備していた際、ステンレスの寸胴鍋に20?ほどスープ類が入った20kg前後になるもの、ステンレスの寸胴鍋に10?ほどスープ類が入った15kg前後になるもの、40袋分（1袋230g入り乾麺）のそばを大鍋で茹でる際のざるなどを床から約1mの作業台や床から約1.2mの高さの台車に複数回持ち上げたり運んだりすることで背中を痛めた。当日は傷みが続いていたが終業時間まで就労した。翌日は朝は就労したが痛みがあった。	31	379	6	~ 9999	1000
2017	7	3~4	一階の作業場で郵便物を積んだ輸送パレットを進行方向に背を向け引っ張って移動していた。区分した郵便物を保管する棚（区分棚）と作業台に挟まれた狭い場所を通過しようとしたところ、両手で輸送パレットの両端を持ち引っ張っていた左手の手の甲が区分棚とパレットに挟まり負傷してしまった。	45	362	7	~ 499	300

2017	7	8~9	社内の階段を2Fから1Fへ降りている時、手摺はつかまっていたが、考え事をしながら降りていたため、間にある踊り場から降りる時手摺をつかみきれずバランスを崩し前のめりになり階段を4、5段すべり落ちて右手首と左足首を負傷した。	54	413	1	—
2017	7	0~1	1階ベルトコンベアに流れてきた荷物をトレーに乗せようとしたところ、当該コンベアと接続するコンベアの間に左手を挟まれ、左手薬指を負傷した。	34	224	7	1000 ~ 9999
2017	7	11~12	事故発生現場あての郵便物を配達し自動二輪車に乗った。自動二輪車に乗った後、スタンドを左足ではずそうとしたところ、足が引っ掛かった。足が引っ掛かり自動二輪車が左側に倒れてきたので右側に飛び跳ねた。飛び跳ねた際に右手で体を支えようとし右手のひら及び右肩を負傷した。	63	231	2	50~ 99
2017	7	11~12	配達先にて段差のあるアプローチ部分（アスファルト）から左足を踏み外した。その時、痛みはあったが配達を続け、翌日、出勤後に痛みが酷くなった。	19	417	2	500 ~ 999
2017	7	19~20	1t車で集荷を終え帰局し倉庫前の駐車場で、物品を出したり清掃をしたりしていた。助手席のドアを開け作業し後方へ行こうとし開けたドアに背を向けて立っていたところ、手伝いをしていた社員が気がつかずドアを閉め頭部に当たった。	42	221	6	500 ~ 999
2017	7	11~12	軽四車両に乗務し、次の集荷先へ向かう途中信号機のある交差点で信号待ちをしているところ、後方から走行してきた自動車に追突された。追突された衝撃により、右肘の打撲と頸椎の捻挫となった。	42	231	17	300 ~ 499
2017	7	13~14	郵便物の配達作業のため二輪車で舗装されている道路を走行中、後ろタイヤのパンクによりバランスを崩し、誤ってアクセルを吹かしてしまい10m程走行した後、左側へ転倒した。転倒した際に左足首付近が二輪車の下敷きとなり、左足関節外側側副靭帯損傷となっ	18	231	17	100 ~ 299

			た。また、転倒の際に左肘を地面にぶつけ、左肘擦過創となった。				
2017	7	7~8	業務開始1分前に、朝礼場で体操するため待機していたところ、同僚から出勤登録が漏れていると指摘を受け、急いで出勤登録の入力をしようと集配事務室内を走った。出勤登録ができ、再度朝礼場へ向かうため全力で走っている時、肉離れ（左足を踏み込んだ際）となった。	50	921	19	500 ~ 999
2017	7	17~18	配達を終え帰局途中、直線道路を走行していたところ、意識が朦朧として縁石に衝突し転倒、負傷した。	19	231	17	300 ~ 499
2017	7	17~18	当社社員がバイクで郵便物を配達中、見通しの悪い交差点（T字路）を左折しようとした際、交差点手前で停止はしたが、左右の安全確認が不十分なまま左折しようとしたため、左側から来た相手車両と接触して負傷した。	26	231	17	100 ~ 299
2017	7	16~17	郵便物配達のため、配達先敷地内の郵便受け箱へ徒歩で向かう途中、駐車場内の車止めに気がつかずつまずき転倒した。転倒した際、路面で左膝を強打し負傷した。	46	417	2	100 ~ 299
2017	7	14~15	発生者は、自動二輪車（110cc）に乗務して通配作業に従事中、相手側車両が切り替えし運転をしていることに気付き停止していた。相手方は出入口に繋がる通路前に停車するため後退を開始したが、当方が通路前に停止していることに気付かず衝突した。その結果当方は転倒し自動二輪車が損傷し左足関節捻挫のケガを負った。	18	231	17	300 ~ 499
2017	7	11~12	被災場所において、急勾配（下り）の配達先の家の前に車両を停車した際、停車した場所が車両前方と後方の高低差が大きかったため、車両がバランスを崩し横転その際車両のドアと座席下部分に足が挟まれ受傷した。要因として、左前輪が配達先敷地内に乗り上げたことにより、右前輪が浮いた状態となり、右に荷重がかかり横転したためと思われる。	64	231	17	300 ~ 499

2017	7	16~17	交差点に向かって、渉外営業後、帰局しようとバイクで走行中、急な大雨に遭い、視界もあまりよくないところ、直進から右折レーンに入る車に気をとられたこともあり、ハンドル操作を誤り、濡れた路面の線上で、スリップして、転倒した。内務業務をしていたが、通院加療の経過が思わしくなく、3週間の休業加療との診断を受けた。	43	231	2	100 ~ 299
2017	7	13~14	ビルの地下配達先に向かうため階段を下りたところ、足を踏み外し、階段に対して転倒し、その際に左足甲を骨折したもの。	33	413	2	300 ~ 499
2017	7	12~13	左折時に、路面のコンクリート部分がひび割れていることに気づかず前輪でコンクリート部分を踏んだところ、コンクリートが捲れ上がり、エンジン部分に引っ掛かり車両がロックした。ロックした反動で右前方に転倒し右足がバイクの下敷きになり、右腓骨遠位端を骨折。	58	417	17	100 ~ 299
2017	7	15~16	お客さま宅へバイクにて配達しようとしていたところ、急な坂を下りて配達しその後、上って行く途中で、ギアがローからニュートラルに入りブレーキをかけたが、バイクの車体が後方へ下がり支えられずに右側へ転倒し、右腰と右足を地面で打った。	60	231	17	100 ~ 299
2017	7	16~17	道路上を郵便物の配達のため、自動二輪車で道幅4m~5mの緩やかな上りの左カーブを、時速約30kmで走行中、路面が濡れていたの で、道路の右側に膨らんだところ、アスファルトが割れて段差になっている所があり、そこに前輪を取られバランスを崩し左へ転倒し、右手首と左手親指を骨折した。	18	231	17	100 ~ 299
2017	7	14~15	配達時、配達先宅前路上に停車、上半身をひねりながら降車しようとした際車両が不安定で両腕で踏ん張り二輪を支えようとしながら降車、持病であった腰痛が発生し、激痛により支えることができず二輪車をそのまま倒し動けなくなった。	54	231	19	50~ 99
			ゆるやかな左カーブを抜けた後下り坂で対向車に気がつきブレーキ				300

2017	7	7~8	を掛けた。その際に道路上の砂でスリップして転倒した。なお対向車とは接触等していない。	37	231	17	~ 499
2017	7	16~17	二輪車で配達業務終了後帰局途中、信号の無いT字交差点を直進していたところ、対向の四輪車が急に右折してきて衝突し転倒。転倒した際店の看板にあたり負傷した。	23	231	17	~ 499
2017	7	11~12	書留郵便物を配達するため、玄関先でインターフォンを鳴らし待っている時、お客さまが駐車場で飼っている犬が突然襲いかかり足先を数回かまれ負傷。普段は、駐車場の端でワイヤーでつながれており、玄関までくることはできないが、当日はワイヤーが切れたため襲いかかったもの。	44	911	90	~ 499
2017	7	11~12	配達途中、2階から1階へ下りる際、階段を踏み外した。（6段目あたり）結果、左足三角骨を剥離骨折した。	31	413	19	~ 499
2017	7	14~15	走行中、左折した際、前方より軽四輪車が見えたため、避けようと思ひハンドル操作を誤って、左の用水路に二輪車ごと転落した。	28	231	17	~ 299
2017	7	10~11	当方労働者は、配達用二輪車に乗務し、配達開始地点に向けて走行中、交差点にて前方の信号が青であることを確認し直進しようとしたところ、赤信号を見落として交差点へ進入してきた相手側軽四輪車に左側から衝突された。労働者は、相手車両のフロントガラスに左顔面を強打し、二輪車とともに5m程度はね飛ばされ、左目上部の創傷および数カ所の擦過傷を負った。	30	231	17	~ 299
2017	7	17~18	四輪車で、3車線道路の中央車線で信号待ちのために停車中、左折車線に移動しようとした四輪車に追突され頸部を負傷した。	42	231	17	~ 999
2017	7	19~20	CRBを移動中、開いていたチルドコンテナの扉との間に左手を挟めてしまった。左手の甲が3倍くらい腫れ、出血も発生していた。	46	419	7	~ 100

										299
2017	7	14~ 15	片側3車線道路の第2走行車線を渋滞で停車している前車に続き停車していたところ、後ろからきた相手四輪車が追突、当方は押し出されるように前車に追突し転倒負傷した。	18	231	17			~	499
2017	7	10~ 11	婦人服店に郵便物を配達する際の入店時に重いガラス製のドアを開けたが勢いよく閉まるので手で抑えようとしたがドアに右手薬指を挟まれ爪が剥がれ指先を骨折した。	52	419	7			~	299
2017	7	13~ 14	到着パレットAの上段よりBの下段を移動させていた。左手首に違和感を感じたため手をストレッチしようとグーパー1回握ったら手首に激痛、その場にうずくまった。痛みがあったときは宅配物を触っていない。(今までも関節が詰まる感じがあり、右利きだが左手で荷物を持つことが多かった。)	41	921	19			~	299
2017	7	8~9	1階作業場において、小包配達の準備作業中、パレット下段から小包(2~3kg)を下へ向いて取ろうとしたとき、腰に痛みが生じた。	58	611	19			~	299
2017	7	11~ 12	配達中、配達先の前でバイクを止めブレーキをかけたところ、前輪がすべり転倒しそうになったため支えようとした。その際、左足に力を入れたため、捻って膝下を負傷した。	42	231	19			~	499
2017	7	14~ 15	配達中、バイクを降りて道路に面しているタイル製の階段を4段登り、玄関先にあるポストに配達物を入れた。その後、バイクに戻るために振り返った時、両足がプラスチック製の玄関マットの上に乗っている状態になった。そして、階段を降りるために左足を一段下の階段に着き、玄関マット上にある右足を前に出そうとしたところ、玄関マットが滑って右足をとられバランスを崩して前方に転倒した。転倒の際、右足の膝下部分から、おそらく上から2段目の階段の角に落ちて負傷した。大量に出血をしていたため救急搬送により治療を受けた。	42	413	1			~	499
			次の配達先のポスト前へ向かうために左折した際、路面の泥溜まり							

2017	7	11~ 12	にバイクの前輪がはまり、左足を地面につけバランスを保とうとしたが、そのまま左側に転倒した。その際、左足をバイク後部にはさみ、左足首の捻挫、左足首くるぶしの創傷により、左足首と左足くるぶしを痛めた。	24	231	17	~ 299	100
2017	7	9~ 10	組立済みの空パレットを移動しようとした際、たたんであったパレットが絡んでいたため、少し揺らして剥がそうとしたところ、たたんであったパレットが倒れてきたので、避けようとして尻もちをつく感じに転倒し、腰に激痛がはしった。	47	362	2	~ 9999	1000
2017	7	11~ 12	走行中、信号機のないT字路で、左側から相手車両が来ていたので減速したところ、相手車両が右折してきて衝突し、右側に転倒した。	26	231	17	~ 299	100
2017	7	11~ 12	バイクで配達中、歩道を通り過ぎて配達先へ向かうため左折した際、歩道と道路の段差（20cm程度）の目測を誤り、つま先を段差にぶつかけ、左第2趾を骨折した。	26	231	3	~ 499	300
2017	7	15~ 16	信号のある交差点で、当局バイク（50cc）が交差点に進入した際、右から来た軽乗用車が当局バイクの右側側面に追突した。	45	231	17	~ 999	500
2017	7	17~ 18	被災社員は配達作業を終えて帰局途中、小学校の裏のT字路の道路を直進していた際、舗装してある道であったが、砂利が散乱している所に二輪車を乗り上げてしまい、右側へ転倒して受傷した。	38	231	17	~ 499	300
2017	7	11~ 12	ケーブルテレビの屋内配線作業中、工事宅と一段高い敷地（高低差1.5m程度）にある隣家との間の隣家側敷地境界にある石垣の上を歩きながら、工事宅の雨樋沿いにケーブル配線を行っていたとき、石垣の上から足を踏み外し、工事宅敷地内の地面へ臀部から転落した。	54	417	1	10~ 29	
		12~	配達のため、路肩に停車していた自動二輪車に乗車し、次の配達先に向かうため発進したが、後方の安全確認を適切に行わず発進した					100

2017	7	13	ため、相手車両（四輪）が避けきれず、当社自動二輪車後部に衝突した。衝突の際、当社社員は自動二輪と共に左側に転倒し、左側鎖骨を骨折した（自動二輪車110cc）。	63	231	17	～ 299
2017	7	11～ 12	見通しの悪い緩やかな下り坂の左カーブを走行中、対向車線側に膨らみ、対向車の運転席側前面と当社軽四輪運転席側前面が衝突した。	60	231	17	～ 299
2017	7	14～ 15	局内の車両発着台で、軽四輪車の荷台から荷物を降ろすために車に近寄ったとき、開いていたハッチドアの先端部分に頭をぶつけ負傷した。	69	231	3	～ 299
2017	7	11～ 12	配達作業中、配達先へ向かう途中で右折進入しようとしたところ、後続の相手車両と接触し、右第6肋骨骨折を負った。	57	231	17	50～ 99
2017	7	18～ 19	掲示版にPOPを貼るため、脚立を使用していた。脚立から下りている途中、脚立の一番下の段ふちに足を置いたとき、一番下の段ふちが破損して転倒し、尻から落ちた。	36	371	1	10～ 29
2017	7	20～ 21	お客さま宅へ荷物を配達するため、道路へ軽四輪車を止め、荷物を持ち徒歩で玄関へ向う途中、段差に躓き転倒し負傷した。	62	417	2	300 ～ 499
2017	7	16～ 17	取集終了後、帰局途中、当局駐車場よりお客様乗用車が出てきたため、前方バイクが停車するのを受け、停車したとき、後ろから来た小型ミキサー車に追突された。	53	231	17	～ 499
2017	7	11～ 12	配達業務に従事中、配達先手前にある段差を上がったときに右足に強い痛みがはしり、そのまま動けなくなった。（足を捻った等の所作はなく、いきなり痛みが出た。）当初は、右足関節捻挫の診断であったが、別の病院で受診したところ、右足関節靭帯断裂が判明した。その後、靭帯が繋がった後も痛みがひかないため、再度受診したところ、アキレス腱の断裂も判明した。	56	921	19	～ 299
			信号のない交差点を走行中、左右安全確認を怠り、左から来た相手				100

2017	7	19～ 20	車両と出合頭に衝突した。その衝撃で、当方の車両が乗務者と一 緒に回転しながら横滑りし、右斜め前方の民家の車庫の扉に衝突し て扉を損壊した。	46	231	17	～ 299
2017	7	15～ 16	次の配達先へ向かうため、信号機のない交差点を当方社員がバイク で直進しようとしていた際、右方から直進してきた乗用車と衝突し た。当方自動二輪の後方に相手側右前部が衝突し、当方は2m程バ イクごと飛ばされて転倒し、右足の甲を開放骨折した。	44	231	17	～ 299
2017	7	11～ 12	次の配達先へ向かうため、自動二輪で右カーブを時速10kmで走行 中、フロントタイヤがスリップしたため、バランスを崩して右側へ 転倒し、右鎖骨を強打した。	36	231	17	50～ 99
2017	7	10～ 11	午前の配達のためバイク（原付）で走行中、左方のT字路から乗用 車が急発進で右折を開始し、避けきれずに衝突した。その際に転 倒し、救急車で病院へ搬送された。	26	231	17	～ 299
2017	7	14～ 15	被災者は走行中、一時停止を無視し右折してきた相手四輪と出合い 頭に衝突し、走行方向右側に転倒した。	36	231	17	～ 299
2017	7	11～ 12	配達先で車両から書類等の出し入れをするときに、突然の強風によ りドアが閉まり、右手薬指を挟まれて負傷した。	48	221	7	～ 999
2017	7	11～ 12	配達業務のため、私道を自動二輪車で直進中、前方の道が悪いため 減速していたところ、前ブレーキがロックして左側へ転倒し、左膝 を地面に打って負傷した。なお、事故発生前は雨が降っており、 地面が濡れていた。	42	231	17	50～ 99
2017	9	14～ 15	配達を終え、お客様宅玄関階段の最後一段を下りた時、着地時に左 足を砂利にとられ強くひねってしまった。	59	417	19	～ 499
			配達中、お客様宅の階段に右足をぶつけ負傷した。当日はそれほ				500

2017	9	11～ 12	ど痛みがなかったため配達業を続けた。その後も多少痛みがあったが、休むほどではないと自分で判断し勤務を続けていたが、骨折が判明した。	65	413	3	～ 999
2017	9	17～ 18	郵便物の配達終了後の帰局途中、信号の無い交差点にさしかかり、減速し直進で進入する際に、対向車が来ており左側に寄ったところ、左側のガードレールとの距離の目測を誤り、ガードレールに衝突した。なお、直進先の道幅は狭くなっていた。	21	231	17	～ 499
2017	9	16～ 17	被災者は自動二輪車に乗務し配達業務に従事中、次の配達のためT字路交差点を右折しようと減速しながら交差点へ進入していた。軽乗用車の右折してくるのに気づき交差点手前2メートルの所で停車したが、相手車両がバイクの存在に気づかず、当方走行車線を横切るように走行してきたため衝突した。その際、バイクが右側に転倒し、70cm引きずられた際に右足を地面とバイクに挟み骨折した。	30	231	17	～ 299
2017	9	15～ 16	集荷先の倉庫から、20キロ入りの米を軽四輪車へ積み込み作業中、8個ほど積み込んだところで急に腰に痛みがでたものである。	36	611	19	～ 999
2017	9	16～ 17	二輪車で配達終了後、帰局中郵便局前の片側一車線が道路から局構内に入ろうと右折した際に、四輪車が局構内通路の中央寄りを走行してきたので、行き違いができないと思い歩道手前で停止したところ、四輪車はそのまま走行してきた、二輪車前部と相手方車両右前部が衝突して転倒し負傷した。なお、相手方は、衝突する寸前で当方に気づきブレーキとアクセルを踏み間違え、二輪車を引きずったまま道路反対側の歩道手前で停止した。	59	231	17	～ 299
2017	9	18～ 19	配達中、周りが暗くなりカーブを曲がろうとした時、道路のアスファルトが砕けているのに気がつかず、前輪のタイヤがはまってしまい衝撃でバイクのステップが左足くるぶし部分に当たってしまい怪我をした。	18	231	17	～ 299

2017	9	17～ 18	二輪車で配達中、林道の下り坂を走行した際、路面が砂利からコンクリート舗装に切り替わるところでバランスを崩し、道路の右側に二輪車が寄っていた。危険を感じブレーキをかけたところ、道路右端の路面には落ち葉や砂利があったため後輪がロックし、左側に転倒した。	52	417	2	100 ～ 299
2017	9	20～ 21	お客さま宅の配達終了後バイクに戻る際、三段位の階段を下りた時に足を踏み外し、前に倒れて足を捻った。	54	413	1	—
2017	9	16～ 17	社員は販売業務を終え、お客様敷地からバイクで右折で出ようとした。その際、右方から乗用車が来ていたので通過するのを待ち、通過後に右折を開始したが、乗用車に続いて走行していたバイクを見落として道路に進入したため、社員バイクの右側、右足付近に相手バイクの前方部分が衝突し、社員は右足を負傷して救急搬送された。	27	231	17	300 ～ 499
2017	9	11～ 12	郵便物を配達しようとしてバイクを運転しているとき、ハンドル操作を誤り転倒した。その際、身体がバイクの右側に投げ出されるように倒れ込み、左足のすねを車体に打ちつけた。	37	231	17	100 ～ 299
2017	9	9～ 10	自局に到着した物品を保管しているグレーのパレットの上段に積んであったコピー用紙の箱（A4・10束入り）を下に降ろす時、箱の重量を右手親指の付け根の部分で受け止めてしまったため、負傷した。当日、医療機関を受診し靭帯損傷と診断される。	59	611	19	500 ～ 999
2017	9	15～ 16	集荷先にて直置き荷物の（10～20kg程度）を台車に乗せようと持ち上げた際、腰に激痛が走ったものである。	62	921	19	1000 ～ 9999
2017	9	12～ 13	バイクで次の配達先まで走行中にバランスを崩し、左足がステップから滑り左側に転倒してバイクの下敷きになり、左足を負傷した。	36	231	17	500 ～ 999
		20～	夜間、一戸建住宅に郵便小包の配達時、作業終了後、他の配達先に向かうため、車に戻ろうとしたところ、その住宅の玄関前段差が暗				100

2017	9	21	くて分からず、また、玄関前が大変せまかったため、左足を踏みはずし、くるぶし付近を強くひねってしまった。	57	413	1	～ 299
2017	9	10～ 11	車道と歩道の上に設置しているポールの後ろにバイクを停車して配達先へ向かった。配達後、次へ向かう際にポールが前方にあるにも関わらず、バイクをまっすぐに発進させたため前方のポールに接触した。それによりバランスを崩して右側へ転倒して右肩を痛めた。	57	231	17	～ 299
2017	9	16～ 17	配達先のアパートの2階から1階に下りる外階段の3段目を歩行中に足を滑らせ転倒し、一番下まで滑落した。(全10段程) その際に左ひじ及び左すねを裂傷した。事故当時は、雨が降っていて、鉄板状の階段は、濡れており、滑りやすい状況であった。	45	413	1	300 ～ 499
2017	9	7～8	郵便局内の作業場で、郵便物の配達準備をするため、定形外郵便物が多く入ったケースをカートから持ち上げた時に腰を痛めた。	52	611	19	300 ～ 499
2017	9	13～ 14	小包到着処理場において、小包をロールパレットから取り出す際、パレットの中板を上げて、ロックで固定したつもりでいたが、しっかり掛かっていなかったため、下段の小包をとろうとした時に中板が落ちてきて、頭部左側にぶつけた。	41	419	4	300 ～ 499
2017	9	11～ 12	軽四車両で配達集荷先へ移動中、信号待ちで停車していたところ、相手車両が前方不注意で当車後部へ追突してきた。	39	231	17	300 ～ 499
2017	9	20～ 21	国道を業務用自動二輪車を運転し走行して、右折をしようとしたところハンドル操作を誤ってセンターライン上にある縁石に前輪を接触させて右側に転倒し、同自動二輪車と縁石の間に右足が挟まれ骨折した。	25	231	17	100 ～ 299
		10～	構内発着所にて、車両のキャリーボックスに郵便物が入っているファイバーを入れようとしたところ、腰に激痛が走った。10分以				100

2017	9	11	上直立のまま、その場から動くことができず、上司とともに病院へ行き受診。診断の結果、ギックリ腰（腰椎捻挫）と診断され、投薬と湿布を処方された。	32	611	19	～ 299
2017	9	19～ 20	ゆうパックの配達作業に従事中、配達を終え徒歩で車両に戻る際に、通路の段差につまずき転倒し右肩を負傷したもの。	60	417	2	300 ～ 499
2017	9	15～ 16	郵便配達業務に従事中、配達先階段を上ろうとした際に左足を踏み外した。前のめりに倒れかかったため、咄嗟に右腕を出したところ、右腕が階段角部にあたり、手首付近を骨折した。発生原因は、階段を上ろうとした際に、足元の確認を疎かにしたことによるものである。	38	413	2	500 ～ 999
2017	9	12～ 13	自動二輪車による郵便物の配達中、次の配達先へ向かう際に下っていた時に、道から合流する相手車両と衝突し転倒した。	62	231	17	100 ～ 299
2017	9	12～ 13	郵便配達業務に従事中、配達先団地の階段を下りたところ、最後の一段を下りたところで右足を捻った。事故発生時、被災社員は、階段の下から2段目のところで、もう1段あるとは思わずに階段を下りたため、右足を外側に反るように捻ったものである。	55	413	1	500 ～ 999
2017	9	13～ 14	バイクで郵便物を配達中、バイクを停めておける際に左足がステップとギアの間に挟まりひねって足を痛めた。	30	231	19	100 ～ 299
2017	9	23～ 24	1階小包郵便物作業場において、小包郵便物の区分作業中、30kgの米の入った小包郵便物をローラーに載せる為持ち上げて、左から右に腰をひねった際に負傷した。	39	611	19	500 ～ 999
2017	9	17～ 18	区分する区分機のレーン近くで、空のケースを運んでいた所、薄物を合わせて入れるため床に置いた別のケースに気付かず接触し転倒、アゴと膝を打った。	47	416	2	500 ～ 999

2017	9	14~ 15	本社4階倉庫内にて、中間決算の棚卸作業中、ゴルフボールやマグカップの入ったケース（17.5kg）を棚から床へ降ろそうと手前に引き出した際、想像以上の負荷が一気に腰にかかり、ぎっくり腰を発症した。	38	611	19	~ 299	100
2017	9	11~ 12	事業場内のホームにおいて、仕分けした商品をトラックに積み込む際に、積み込みホームとトラックの間に隙間があり、左足は隙間をまたいたが、右足を隙間に挟んでしまい、右足膝を強打したものである。	47	419	3	10~ 29	
2017	9	11~ 12	被災者は原付二輪で郵便物の配達業務に従事中、点滅信号のある交差点（被災者側）を直進しようと交差点内に進入したところ、相手方（赤色点滅信号）の車が右側から急に交差点に進入してきたため、よけきれずに衝突。そのはずみで被災者は飛ばされ、負傷した。	47	231	17	~ 999	500
2017	9	10~ 11	郵便局区分場の地域ケース置台最上段にあったケースを下ろそうと左手だけで引いたところ思った以上に重たかったため、反射的に右手でパレットケースを落とさないよう踏ん張った際、右手首を捻り負傷した。	41	611	19	~ 9999	1000
2017	9	2~3	作業場にて、2レーンの後方差立ての時、パレットの蝶番を持ち動かした際、上の扉が動いてパレットを掴んでいた隙間が狭くなり、指を挟み負傷した。	45	611	7	~ 9999	1000
2017	9	17~ 18	マンションを配達後、バイクに戻ってエンジンをかけるため、キックしてエンジンをかけたがかからなかった。再度キックしたところ、足が滑ってキックレバーに右足ふくらはぎを強打し、右下腿部挫傷した。	43	231	3	~ 299	100
2017	9	10~ 11	発生者は定形外郵便物等が入ったケースを運ぶため持ち上げようとした際に、腰を痛め負傷した。	24	921	19	~ 499	300
			道幅約3メートルの道をバイクで配達中に、先搬の台風による土砂					100

2017	9	11～ 12	崩れによる粘土上の土が流れ出ていて、その上を走行した際に、タイヤがスリップし左側に転倒し負傷。	30	231	17	～ 299
2017	9	12～ 13	配達途中、直線道路を走行中、道路左端に停車していたトラックをよけるために、右側に出て走行しようとしたが、前方から軽自動車 came ので、急ブレーキをかけたところ雨で濡れた路面のため、タイヤがスリップして左側に転倒、左腕・左脚を地面に強打、そのまま滑ってトラックの後方下に入り込み、トラックの後輪右タイヤにあたって停止した。	25	231	17	～ 299
2017	9	1～2	パレットケースをフライトコンテナに積み込み作業中、3段目を積みもうとした時に腰に痛みを感じた。	34	611	19	～ 9999
2017	9	12～ 13	午前配達を終え、帰局途中で信号機のない交差点を直進しようとして左側から直進してきた二輪車と衝突した、当方は転倒時に右肩肩甲骨を骨折した。	46	231	17	～ 299
2017	9	14～ 15	交差点を郵便物の収集のため、軽四輪車に乗車中、赤信号だったので、停止線前に完全に停車していたところ、後方から進行してきた車が、原動機付自転車を跳ねた後、当社の軽四輪車へ追突してきた。その弾みで、当社軽四輪車は車ごと3m程前方へ飛ばされ、社員が負傷した。	52	231	17	～ 999
2017	9	16～ 17	林道を自動二輪で走行中、舗装した路面に堆積した土によりスリップし左側に転倒し負傷した。	43	231	17	～ 299
2017	9	15～ 16	局内で折りたたんだ鉄パレット2台を搬送中、置いてあった別パレットにぶつかり、搬送していたパレットが倒れそうになったため支えようとしたが支えきれず、パレットの下敷きになった。	52	362	5	10～ 29
		12～	当該社員が、自動二輪車で配達先へ向かう途中、山道のカーブにさしかかり、カーブ後半にて、湿潤していた路面にタイヤが滑り、車				100

2017	9	13	体が左へ傾きかけたため、右にハンドルを切ったところ、右側へ転倒したもの。路面は前日の台風の影響で、土砂や雨水が流れ出しており、落ち葉や木片も散乱していた。	53	231	17	～ 299
2017	9	13～ 14	配達先私有地、道幅約2mの緩い下り坂で右鋭角に曲がる際に砂利道にタイヤが取られバイクと一緒に右側へ転倒した、その際に右膝の内側を打った、後日、右膝骨折の診断を受けた。	55	231	17	～ 499
2017	9	16～ 17	定形外郵便物約200通が入ったパレットケースを集荷し持って帰る際、1段の段差を踏み外し転倒し負傷した。	48	413	2	～ 499
2017	9	11～ 12	営業業務のため被災地交差点を自己所有の自家用車で走行していた、北側から相手車両が走行してきて、当方車両の側面に衝突してきたため、当方車両は逆さまになって大破した。救急車で運ばれCTなどによる検査を受けたが、脳・骨などに異常はなかった。	54	231	17	1～9
2017	9	14～ 15	片側一車線の主要幹線道路から次の配達先へ左折するため、時速5～10kmで左に寄ったところ前輪がスリップ（路肩分別のための白線に乗り上げたと思われる）し、縁石に接触後歩道側に転倒し、左胸を強打した。	41	231	17	～ 999
2017	9	10～ 11	業務中、電報棟から本棟へ書類を受け渡しに行った帰り、3階から2階へ階段移動中足を踏み外して転倒、右足を捻って痛みがひどく、そのまま近くの病院を受診、腓骨骨折の診断を受けた。	41	413	1	～ 299
2017	9	19～ 20	軽四輪での配送作業中、信号のある交差点に差し掛かったが赤信号のまま交差点に進入、そのまま左方から直進していた乗用車と衝突し軽四輪は右方へ横転、頭部等を負傷した。	48	231	17	～ 299
2017	9	13～ 14	屋外設置の簡易トイレから出ようとして、右足で段差を踏み外し、バンラスを崩して、右膝をついた時に右足甲の右側面を負傷した。	43	417	2	30～ 49
2017	9	16～ 17	郵便局1F輸送部作業場打鍵レーンにおいて、レーンにひっかかり、手を伸ばして移動させた、その際に後方から流れてくるのに気付か	61	611	6	～ 1000

			ず、左脇あたりに接触し負傷した。				9999
2017	9	20～ 21	夜間配達応援時、配達先にバイクを止め、そこから徒歩で在宅を確認しに行く途中、周囲が暗かったため、側溝（深さ約130cm）の終端と見てたところが、まだ側溝であったため、足から転落、その際、体の右側を側溝で強打及び頭部・右頬を積み上げているブロックにぶつけ頬を50cm切るとともに両足脛を打撲した。	33	418	1	500 ～ 999
2017	9	15～ 16	配達先から配達作業を終え、路上に出ようとした際に、右側から進んできた車に気づくのが遅れ衝突し、上記の骨折をするケガに至った。	54	231	17	100 ～ 299
2017	10	11～ 12	配達終了後、雨で濡れたタイル製の階段を下る途中、右足を滑らせ階段を飛ばし、勢いよく左足で着地した。その際左膝が外側を向くような着地姿勢となり、左膝裏側に痛みを感じた。	44	413	1	100 ～ 299
2017	10	17～ 18	配達先のアパートにて階段を小走りで駆け下りたところ、階段中央にある踊り場部分でバランスを崩し、そのまま7段程駆け下り地面で転倒。その際、右肩と右膝を負傷した。その日は配送物も多く少々焦り気味であった。又、階段に外灯などは無く、辺りは暗かった。	64	413	2	300 ～ 499
2017	10	13～ 14	お客さま宅郵便受箱へ配達を終え、二輪車へ戻ろうとしたところ、段差に気づかず足をとられてバランスを崩した。その際、強く踏ん張った時に右足じん帯を負傷した。	43	417	19	300 ～ 499
2017	10	10～ 11	当社二輪車が、T字路交差点の停止線において赤信号で停止していたところ、後方からきた相手方四輪車に追突された。	25	231	17	500 ～ 999
2017	10	10～ 11	社員は8時から出勤し、勤務中に飲み薬を飲むため郵便局内の4階食堂へ水を買に行こうとした。階段で移動中、3階から4階途中の踊り場へ向かって2、3段上った際に足を滑らせ後ろへ転倒、左足を負傷した。	43	413	1	100 ～ 299

2017	10	14～ 15	郵便配達途中、交差点で先頭にて信号待ちをしていた。社員は青信号に変わったのでバイクを発進させたところ、右側から何か来たと思った時には避ける間もなく、右側に自動車が衝突していた。	22	231	17	～ 299	100
2017	10	20～ 21	お客さま宅へお米を配達するため、お米を抱きかかえていた。入口の門が狭く体勢を崩してしまい持ちなおした際に首と背中を負傷した。（不安定な状態で首と背中に力が入ってしまったため。）	58	611	19	～ 499	300
2017	10	12～ 13	道路を走行中、右折帯に入ろうと直進していたところ導流帯（中央分離帯の切れたところ）で相手方車両がウインカーを出さず急にUターンを開始してきたので避けようとしたが、バイクの左ステップが相手方車両の右前タイヤに接触、転倒した。	54	231	2	～ 299	100
2017	10	4～5	郵便小包を区分し輸送容器（パレット）に積み込み中、小包を上段奥へ積み込むために、中板1枚を収納しようとした時に、中板収納部に左手を添えていた事を失念したまま中板を勢いよく収納したため、中板収納部の金属と収納した中板の間に左手薬指を挟んでしまい負傷した。【輸送容器（パレット）について】パレットは容器を上段下段に分ける中板があり、その中板は手前、奥で2枚に分かれている。また手前の1枚はパレット右側に収納部があり、収納できる構造になっている。	24	379	7	～ 999	500
2017	10	11～ 12	社員はおお客様宅に小包を配達し、車に戻る途中、配達証を確認しながら歩いていたので、足元の溝に気付かず足をとられ転倒した。	57	417	2	～ 499	300
2017	10	13～ 14	バイクを降り、郵便受けに郵便物を配達後、バイクに戻る途中、側溝の段差に気づかずバランスを崩し、バイクのキャリーボックスにもたれかかるように転倒した。その際、右肩が外れるように捻ってしまい、右肩関節捻挫の負傷を負ったもの。	54	418	2	～ 9999	1000
		12～	お客さま宅にはポストが設置されていないことから、玄関先まで乗り入れようとしたところ、折からの降雨もあり、お客さま宅敷地内					300

2017	10	13	のぬかるんだ地面に前輪をとられスリップし、体勢を立て直す間もなく左側へ転倒し負傷した。	62	231	2	～ 499
2017	10	10～ 11	倒れた集配用バイクを起こそうとしたが、前カバンと後ろのファイバーに荷物を満載していたため、容易に起こせず、グッと力を入れた際、腰部で「ポキッ」と音がして、腰椎を圧迫骨折した。	58	231	19	100 ～ 299
2017	10	16～ 17	お客様宅入口にあるポストに郵便物を投函し、バイクに乗車した。置き石の横で方向転換をしようとしたところ、ぬかるみで後輪がスリップし、左側へ転倒した。その際、車体と地面に足が挟まり動けずだったが、住人の助けを受けて脱出できた。早くバイクを起こさなくてはと思いながらバイクを起こし始めたところ、ぬかるみに足を取られ転倒した際にブロックに腰を強打し負傷した。	54	921	2	300 ～ 499
2017	10	15～ 16	配達途上、バイクを道路脇に停車して足を踏み出したとき、バイクが風にあおられて自分側に倒れてきた。そのまま転倒し左膝を殴打したものである。当日は台風の永享により強風が吹いていた。	45	231	5	500 ～ 999
2017	10	13～ 14	社員は自動二輪で配達作業中、冠水した道路を迂回するため二輪車に乗車したままUターンした。その際後輪が道路脇の畑のぬかるみに出ていることに気付かないままアクセルを入れ、後輪が空回りし、車両が道路に対して横を向いた反動で、体が舗装された路面に投げ出され、路面に肩付近を打ち付けて右鎖骨を粉碎骨折した。	47	231	2	100 ～ 299
2017	10	15～ 16	自動二輪車で郵便物を配達中、次の配達先へ向かう途中、川沿いの緩やかな左カーブを走行中、道路上に砂利があり、タイヤを取られバランスを崩して転倒した。	28	231	17	10～ 29
2017	10	12～ 13	砂利道をバイクで走行中、転倒しそうになり左足で踏ん張ったところ、左足半月板を痛めてしまった。	40	231	19	100 ～ 299
		18～	被災者は配達途中に交差点を右折したところ、直進してきた車（ワゴン車）と衝突しはずみで車が横滑りし、飲食店の壁に突っ込ん				500

2017	10	19	だ。（バイク2台と特殊窓のレール及び壁に接触している）運転者は、信号の色と事故の瞬間は覚えているが、その前後の記憶を明確に思い出せない状況である。	49	231	17	～ 999
2017	10	10～ 11	両手に荷物を持ち、2階から1階へ階段を下りていたところ、階段の下から5段目あたりで、バランスを崩し、頭から落下し負傷した。	57	413	1	300 ～ 499
2017	10	2～3	バック作業場において、何度も反復して、重量物を運んでる時に物量が多くたくさんの米が積んであるパレットを動かそうとしたら、右膝に強い力がかかってしまい、右膝が痛くなった。次の日に右膝が腫れてきた。	57	362	19	1000 ～ 9999
2017	10	13～ 14	二輪車に乗って郵便局へ向かう途中、道路前方の左側に四輪車が停車していたため、減速しようとブレーキ操作をしたところ、タイヤが滑って二輪車ごと転倒した。その際、右肩を路面に強打し、右鎖骨を骨折する怪我を負った。	42	231	17	300 ～ 499
2017	10	10～ 11	配達先お客さま宅前（坂道）にて、郵便物をポストに投函するため、乗っていたバイクのスタンドを立てて左側に降りた時、バイクが自分のいる左側に倒れてきたため、バイクと共に転倒。バイクと地面の間に左足甲が挟まれ、右ひざも打ち、負傷した。	25	231	7	100 ～ 299
2017	10	15～ 16	集荷後、荷物を持ちながら外階段を下った際、足がもつれ左肩から壁に倒れこむように激突し、右手の平、右足膝、左脛を切傷し、左肩に激痛があったため、病院へ行ったところ、左すねを1針縫い、左肩甲骨を骨折と診断された。	62	413	1	300 ～ 499
2017	10	20～ 21	階段において小包を配達後、階段を下りる途中で左足がもつれて体勢を崩したため転倒した際、右手を着いて骨折した。	38	413	1	300 ～ 499
2017	10	19～ 20	配達先のアパートから階段を下りて自らのバイクに戻る際、前のめりで転倒し、右足くるぶしの靭帯を損傷した。ヘルメットにライントを装着していたが、周囲は暗く、足元が見えていなかった。	27	417	2	500 ～ 999

2017	10	9～ 10	郵便局の2階から1階へ階段を小走りに下りてきて、左に曲がろうとしたところ、清掃員がモップで床を清掃中のため、階段の右側から行こうと体を回転させた時に、軸足にした左足が濡れた床で滑り、足首を捻りながら転倒した。	50	417	2	50～ 99
2017	10	18～ 19	当該社員は帰局の方向の道路を走行していた。走行中、対向車が切れた所から自転車（三輪）が横断してきたため（横断歩道なし）出会いがしらで衝突した。	58	231	17	100 ～ 299
2017	10	9～ 10	郵便局内地下駐輪場で配達用のバイクの車両点検をしていた。前方のウインカーの点灯確認をした後、後方のウインカーとテールランプが点灯しているか確認しようと右後方へ振り向いた際に、右目が右隣にあったバイクのミラーに衝突した。右目涙小管を断裂する怪我を負った。	49	231	3	300 ～ 499
2017	10	21～ 22	自動二輪車で郵便物を配達途中、一旦停止をして右折、そして左折した際に道路の段差に後輪がとられて転倒。その時に自動二輪車が自分の体の上にかぶさったまま左わき腹を地面に強打。痛みがあったが当日はそのまま配達を続けた。左第7肋骨骨折の診断結果となった。	42	231	17	100 ～ 299
2017	10	13～ 14	バイクで郵便物を配達のため運転中、山の中の道路の路面が濡れていて、泥があり、バイクがスリップし、転倒した。その際に、バイクの右側に倒れて、バイクのステップの部分がかかるぶし下部分に当たり怪我をした。	46	231	17	100 ～ 299
2017	10	17～ 18	会議終了後、会議室出入口付近で、貧血により足を滑らせて頭部・臀部・大腿部を打撲した。	58	921	2	100 ～ 299
2017	10	13～ 14	小包を仕分けする作業室において、小包の積まれたパレットから荷物をおろしていた。パレットは二段の構造となっており、上段の荷物を降ろした後、中段を上げロックをかけた後に下段の荷物を降	47	362	4	100 ～

			ろす作業に入ったところ、ロックをかけた中板が外れ、頭部に直撃し負傷した。					299
2017	10	8～9	1階郵便作業を行うフロアで、パレットを整理中に折り畳んだパレットII型5枚をまとめて搬送しパレットを切り替えしようとしたところ、先頭パレット（1枚目）が動いたため、それをおさえようと残り4枚から手を離したら4枚のパレットがバランスを崩し、倒れてきたパレットのメッシュ部分が頭にあたりそのまま倒れ下敷きとなった。すぐに救急車で搬送、結果（検査）胸椎の椎体骨折と診断された。	49	362	5	～	500 999
2017	10	15～16	配達のため走行中、前方左側を工事しており重機（ユンボ）が道路にはみ出していたため道路の右寄りを走行。工事現場先にある左側道路から出てきた軽四輪と衝突した。	62	231	17	—	
2017	10	10～11	配達先のお客様宅前の階段を上る際、足全体で踏み込むつもりが左足つま先でしか階段にかからない状態で上がったため、足首に負担がかかり転倒し捻挫した。	30	413	2	～	100 299
2017	10	15～16	小包集荷のため役所に入ろうとしたところ、入り口前の泥除けマットのたわみに右足をひっかけ、バランスを崩し、左足の方から転倒した。その際、左足の膝部を入り口前階段の1段目の角に激突させた。	31	379	2	～	100 299
2017	10	14～15	バイクを止め、配達後バイクに戻ってきた時にバイクが倒れてきたため、支えようとしたが支えきれず下敷きになり負傷した。	40	231	6	～	100 299
2017	10	23～24	鉄製パレットを組み立てるため保管場所からパレットを手前に動かした際、パレットが被災社員と反対側に倒れたので咄嗟に支えようとして腰を捻った。	54	521	19	～	100 299
		12～	午前の配達を終えた帰局途上、緩いカーブの下り坂において、西から東へ走行していたが、前方から脇見運転をしていた相手方四輪車が道路センターより大きくはみ出して当方バイクに向かって走行し					100

2017	10	13	てきた。当方は相手方車両を発見し、ブレーキをかけたが、相手方車両が当方バイクに突っ込んできたために、衝突し、当方が転倒負傷した。	33	231	17	～ 299
2017	10	12～ 13	配達作業中、機動車で信号のない交差点を時速10km程で通過しようとしたところ、左方から直進してきた相手車両に側方から衝突され、当局社員が車両間に足を挟まれ負傷した。	50	231	17	～ 299
2017	10	10～ 11	雨で濡れた道路を走行中、下り坂の路面に油があり、ハンドルが利かず転倒した。	48	231	17	50～ 99
2017	10	18～ 19	片側3車線道路の交差点で前方の信号は青だったが渋滞しており、交差点内に進入せず停車線で止まったところ、後続車の相手方四輪車は止まらず追突された。	40	231	17	～ 999
2017	10	14～ 15	通配業務に従事中、個人宅の郵便ポストに配達後、階段を下りている際、滑って転落した。	40	413	1	～ 999
2017	10	11～ 12	バイクを止め、徒歩で配達先へ訪問し配達を済ませた後、バイクに戻るため50cm程度の段差を飛び下りたところ、雨天のため着地面足場が悪く、膝を捻った。	31	417	3	～ 499
2017	10	15～ 16	ポストに入らない定形外追跡郵便物を対面配達後、配達完了入力に気になり携帯端末を確認しようとしたため階段1段を踏み外した。	43	413	19	～ 499
2017	10	19～ 20	配送にお伺いしたが、不在であったため、荷物を両手で持ったまま敷地外へ出ようとした際、夜間で足元が暗かったこともあり、階段を踏み外しバランスを崩して前のめりに転倒し、ひざを強打し負傷した。	48	413	2	～ 299
2017	10	16～ 17	バイクで郵便物を配達中、山間部の道路で前輪がスリップし、バランスを崩して転倒。舗装路であったが路面は泥がたまっており、天候も雨だったため滑りやすくなっていた。転倒した際、右脇腹	35	231	17	～ 100

			をハンドルで強打したため打撲となる。					299
2017	10	20～ 21	郵便物の夜間配達途中、団地付近の三叉路を左折するため、バイクを傾斜しながら左折したとたん左側から猫が飛び出してきたので、ブレーキをかけた瞬間バイクが横滑りして転倒し、左手こぶし、左膝、左足首を負傷。	54	231	17	～	100 299
2017	11	17～ 18	日中の気温上昇で積雪が溶けたザクザク状態の路面を二輪車で走行中、T字交差点前で減速したところ雪にハンドルを取られ転倒した。左足が二輪車の下敷きになり、左足の甲を負傷した。	36	719	2	～	300 499
2017	11	19～ 20	次の配達先に向かうため道路をバイクで直進していた際、路面凍結及び轍路面に気が付かず、後輪がスリップし右側に転倒した。その際バイクから逃げようとしたが間に合わず、バイクのステップバーに右足を潰された。更にバイクの転倒した勢いが止まらず潰された状態から半回転した。病院を受診したところ右足腓骨骨折と診断された。	46	231	17	～	100 299
2017	11	13～ 14	バイクで配達している途中、配達先前にバイクを停めて降りようとした際に、左足が足元の氷で滑り左膝が内側へ入って左膝に痛みがはしった。痛みはあったがそのままその日は配達を行い終了した。翌日になっても痛みがあったため、職場へ連絡をした上で病院で受診した。	50	719	19	～	100 299
2017	11	12～ 13	配達先の前で二輪車を止め、降りて一歩目が轍となっていて、足を取られて腰を捻った上に転倒し負傷した。一旦、職場に戻ってから受診した。	24	416	2	～	300 499
2017	11	11～ 12	配達のため、徒歩でアパートに向かっていたところ、凍結路面で滑り、左足が取られて転倒しそうになり踏ん張った。転倒はしなかったものの、その際に左足首辺りに痛みがあり病院を受診した。左足アキレス腱断裂と診断された。	39	719	2	～	500 999
		17～	集荷中、住宅街の信号の無い交差点に（一時停止標識なし、道幅同					300

2017	11	18	じ) 進入した際、左側から来た車両と交差点内で衝突し、負傷した。	25	231	17	～ 499
2017	11	14～ 15	配達先へ向かうためバイクで走行。住宅街の車線の無い見通しの良い生活道路で道路の左側を走行していたところ、目の前の電柱が迫っていることに直前まで気付くことが出来なかった。電柱を回避しようとバイクを操作したことで電柱に接触することはなかったが、バランスを崩して右側に転倒しそうになり、右足を路面に突き出し転倒を回避しようとしたが転倒。右足の脛付近に強い衝撃を感じるとともに痛みで動けなくなり救急車を手配した。下肢粉碎骨折と診断され、緊急手術となり長期治療が必要となった。	49	231	17	50～ 99
2017	11	12～ 13	被災者はお昼休憩のため、配達先から帰局し地下駐輪場へ自転車を止めた。自転車から降りようと自転車にまたがった状態から右足を床についた時、床に付着していた汚れに足を滑らせ膝を捻った。	39	417	19	100 ～ 299
2017	11	11～ 12	原付バイクで配達に従事中、走行中、道路上にあった木片に乗り上げバランスを失ったため体勢を立て直そうとしたが、木の枝や落ち葉などに滑って側溝に落ちた。その際、原付バイクはステップが引っ掛かり止まったが、はずみで投げ出された際に右手首を打ち負傷した。	21	231	17	50～ 99
2017	11	13～ 14	信号が無いT字路で、当社員は配達をしており、次の配達先へ向かうため、T字路を左折したところ、当車輛からみて相手方は左から右へ直進しており、衝突をした。周辺は工事車輛が数台停車していたため、死角が多くあり、当社員は骨折する怪我となった。	47	231	17	100 ～ 299
2017	11	17～ 18	集荷物を倉庫に収納する為、トラックの荷台から荷物を降ろしていたところ、荷台にあった長物荷物が崩れ落ち荷台から落下した。右足に当たり負傷した。足に当たった長物荷物の重量は約15kg、又当日は規定通り安全靴を着用していた。	35	611	19	30～ 49
		10～	めつき棟1Fの支保工足場上で、型枠解体作業を行っていた。上部型枠支保工の解体作業に気をとられ、足元の布板と、鋼製足場板の				300

2017	11	11	隙間に、左足を踏み外して左足ふくらはぎに擦り傷と打身の受傷した。	49	921	19	～ 499
2017	11	17～ 18	渋滞のため停車中に、後方より4tトラックが追突した。その弾みで前方に停車していたコンテナ車に追突した。	59	224	3	500 ～ 999
2017	11	14～ 15	会社置場にて万能サンダーを使用して鉄筋を切断中、鉄筋の反動でサンダーの刃で左大腿部を切った。	30	231	17	100 ～ 299
2017	11	9～ 10	可燃物収集作業中、車を降りる際、路面の段差部に足をついた時、右足根骨を骨折した。	35	231	2	100 ～ 299
2017	11	17～ 18	車で出勤し駐車場より会社の建物に向かう途中、駐車場と公道の境にある坂道で足を滑らせてしまい、転倒して右足首を負傷した。	45	231	17	100 ～ 299
2017	11	12～ 13	休憩後、午後作業開始と同時に厨房内で1学年分のっている長台を洗浄機側に押し移動させようとした際に、重くて動かず滑り尻もちをついた、そのとき、負傷した。	49	231	17	500 ～ 999
2017	11	16～ 17	当社資材置場において、トラック荷台から溶接機を降ろす際、荷台上で躓き転倒しコンクリート床へ左手をつき骨折した。（アングルに躓いた。本来2人作業であるところ、1人で行おうとして発生した。）	63	921	2	100 ～ 299
2017	11	15～ 16	当局3階南側44番ホームと8番シュートとの間の通路付近において、北側より南側へLRB1台（実パレット）を搬送して、ホームへ並べようと向きを変えたところ、急に自分に向かって動き出したので後方へ転倒し、左足は伸び右足は曲がった状態で尻もち、伸びた左足脛にLRBが当たり負傷した。	69	362	2	1000 ～ 9999
			局内事務室より小走りで構内駐車場へ出ようとしたところ、伝送口				100

2017	11	11～ 12	の油圧リフトが少し上がった状態になっていたため、その輪止めに 躓いて駐車場へ転落し左肋骨付近を痛めた。	49	229	1	～ 299
2017	11	12～ 13	上り坂の信号機の無い交差点を走行中、横から車両が来ていた為 (その車両は一時停止中) 危険回避の為、ブレーキをかけて右側へ 重心移動しハンドルを切ったところ、前輪がマンホールの蓋で滑り 右側に転倒した。	60	231	17	～ 299
2017	11	12～ 13	配達が終了し帰局するため片側二車線の道路の左レーンをバイクに 乗務し直進していたところ、信号機が青だったため交差点に進入し た際に、対向車線で右折待ちをしていた乗用車が急に右折をしてき たため回避できずに追突した。	49	231	17	～ 300 499
2017	11	16～ 17	C号棟の配達を終え、バイクに戻る途中の階段を下りる際、上から 2～3段下りたところで、右足を挫き、転倒しないように左足でバラ ンスを取ろうと左足をついたところで、左足も捻り両足を負傷して しまった。	49	413	19	～ 300 499
2017	11	16～ 17	配達後戻る際に路面の段差に躓き左足首を捻って負傷した。	25	417	3	～ 300 499
2017	11	15～ 16	荷物の配達準備中、発着場で配達用車両に荷物を積み込む際に、段 差から足を踏み外して落下し骨折した。	61	418	1	～ 300 499
2017	11	16～ 17	集荷作業中階段を下りる際、あと2段で地面に着くところだった が、荷物を脇に抱えながら降りていたため足元が見えず、階段を踏 み外し、右足首を捻って負傷した。	54	413	1	～ 100 299
2017	11	18～ 19	当方の自動二輪バイクが直進中、左側(敷地内)から相手車両が突 然道路内に進入してきて当方(バイク)の左側面中央部と相手(軽 四)の前部中央部が衝突し、当方はバイク共に反対車線に飛ばされ た。その際、両手両膝を痛めた。	26	231	17	～ 100 299

2017	11	14～ 15	午後からの配達作業を行うため、側道を走行中、右側（高架下）から一時停止せずに交差点に進入して来た相手車両（前部左バンパー）と当方自動二輪車の右側部分が衝突し、負傷した。	45	231	17	～ 499	300
2017	11	11～ 12	配達作業中、グレーチングの上で滑り、右手をついた時に右手甲の骨にひびが入る怪我をした。	41	419	2	～ 999	500
2017	11	15～ 16	配達の為にバイクを降りた直後、スタンドが外れてバイクが自分の方に倒れて来た。左足の横の脛の部分が、バイクに挟まれてそのまま転倒した。左足を打撲した。	59	231	7	～ 299	100
2017	11	10～ 11	軽四輪で配達途中、配達先玄関の石段が凍結していたため、左端の氷と雪がある部分を上り玄関前に到着し配達を終え、乾いて安全に見えた左端から一段右足で下りたところ、足が滑りその場に転倒してしまった。転倒の際、右腕、肩、腰を強打し、右手首を骨折してしまった。	63	719	2	～ 999	500
2017	11	16～ 17	二輪車で配達途中、次のポスト開函先に向かい配達経路であるカーブに差し掛かったためブレーキを踏み減速した。その際、道路がアイスバーンになっていてタイヤが滑り左側に転倒した。凍結防止道路のため雪は解けていたが木の陰となり凍結していたと思われる。祝日明けで郵便物も多く配達の途中であったが、ひとまず取り集め郵便物の差し立てを優先させるため、次のポスト開函先に向かう途中に転倒し左膝を強打した。（超勤は確定させていたので、特に焦っていた訳ではない。）	24	231	17	～ 999	500
2017	11	18～ 19	夕方、夜間の再配申出のため、道路を東へ進み、配達へ向かっていたところ、交差点手前で減速、左右確認を怠ったため、左方から来た相手四輪車と交差点内で衝突した、右に避けようとしたが避けられず、体が車両に叩きつけられて、左鎖骨と左腓骨を骨折した。	44	231	17	～ 499	300
			外務事務に従事中、荷物の配達のため、お客様宅前に軽四輪車を止め、玄関先へ向かう際、足場がぬかるんでいたため足をとられ転倒					100

2017	11	16～ 17	した。転倒した際、地面に右膝を強打した。痛みはあったがその日は病院へ行かず、翌日になっても痛みがあったため、後日病院を受診したものである。	37	417	2	～ 299
2017	11	3～4	社員は小包が積載されたパレットを搬送するため、パレットを動かしていた際、腰に負荷がかかり、急激な痛みが走り負傷した。	58	362	19	～ 999
2017	11	18～ 19	路上を自動二輪で走行中、歩行者の腰辺りに接触し、バランスを崩し13m程右側に倒れながら流され受傷した。	64	231	17	～ 299
2017	11	3～4	社員は小包が積載されたパレットを搬送するため、パレットを動かしていた際、腰に負荷がかかり、急激な痛みがはしり負傷した。	58	921	19	～ 999
2017	11	16～ 17	荷物等を輸送するため、直線道路を走行していたところ、突然対向車線の軽四輪車が反対車線に入って逆走し、こちら側の自動車に向かってきた。突然のことだったため避けることが出来ず、そのまま正面衝突した。	69	231	17	～ 299
2017	11	12～ 13	配達途中、階段を上った先にある家に配達後階段を下りている最中に、足を踏み外して足首が曲がり骨折した。	56	413	19	～ 299
2017	11	16～ 17	鉄製パレットで到着した自局配達小包を分ける作業中、パレットの中敷を畳む際、左手薬指を中敷に触れたまま下ろしたため、左手薬指の第一関節部分が金具と中敷に挟まれ負傷した。	46	362	7	～ 299
2017	11	13～ 14	緩やかな下りの左カーブから信号の無い交差点に進入したところ、右折を開始した相手車と衝突した。	42	231	17	～ 299
		15～	配送業務中、通数を記録していたところ、犬2匹が吠えながら近づいて来たため、下り坂を走って逃げた。その際、地面に着地した				100

2017	11	16	左足の膝が伸びた状態のところに体重がかかり、違和感を覚えたため受診したところ、左膝関節血腫、左脛骨骨挫傷と診断された。	24	911	19	～ 299
2017	11	20～ 21	配達時には段差があるのを認識していたが、配達完了後にエレベーターから降りた時には、段差があることを認識しておらず、また、その時掛けていた老眼鏡がずれていて足元が見えにくい状況にもかかわらず、自動ドアに向かって歩き出したため、段差に気が付かず、足を取られ、勢いよく壁に衝突して左肩を複雑骨折した。	57	418	2	100 ～ 299
2017	11	10～ 11	交差点手前で信号が青になり発進しかけた際、後方から来た2tトラックに追突された。相手運転者はブレーキとアクセルを踏み間違えたとのことである。	57	231	17	500 ～ 999
2017	11	15～ 16	配達のため、自動二輪で走行中、道路端にいた小動物（イタチらしきもの）が突然飛び出して横切ったため、避けようとして道路左側の溝に転落した。左目の上及び顎部を裂傷した。	44	719	17	100 ～ 299
2017	11	13～ 14	配達するため、バイクを停車しサイドスタンドを立ててバイクから離れようとした際、バイクが倒れそうになったので避けようとして足を捻り痛めた。	19	921	19	100 ～ 299
2017	11	11～ 12	小包区分機4番シュートの付近で、運ばれてきたパレットの上段に積んであった荷物（花）を降ろそうとしていた。パレット下段に足を乗せて荷物を掴み、乗せていた足を降ろそうとしたところ、足が絡まったようにふらつき倒れた。倒れた際、建物の柱保護のため床にある木材に腰を打ちつけ負傷した。	46	362	3	100 ～ 299
2017	11	15～ 16	配達先のお宅の前で、バイク（110cc）から降りて止めようとした際、バランスを崩し、バイクが自分の方に倒れ掛かり、立て直しをはかったが支えきれず、左ステップの先端が自分の右足親指にのしかかり、指先を骨折した。	27	231	5	50～ 99
2017	11	15～ 16	小包の積み卸しをする作業場において、みかんの小包（10kg～20kg）を引き受け、積み卸しをしていた際に腰部を痛めた。（33個	43	611	19	50～ 99

			の引き受けがあった。)				
2017	11	11~ 12	道路を直進中、右前方の配達先が近付いたため右のバックミラーで後方の車を確認した。相手車両が遠目に見えたため、右ウィンカーをあげ、1秒後位に道路中央へ寄り、右に曲がり始めたところ、すぐ後方に相手車両が迫って来ており、後ろから追突された。その際、追突された衝撃で前に押されバランスを崩し、左側に転倒し、腰等を打った。バイクはブロック塀にもたれ掛かる状態となった。	53	231	17	50~ 99
2017	11	16~ 17	当社自動二輪車で配達中、お客様の敷地から右折するために一旦停止して左右確認を行っていたところ、バイクのバランスが崩れ（少し下り坂）右足をついたが痛みがはしりバイクを支えきれず転倒し、右足がバイクに挟まれた状態になった。局に帰り転倒を報告し病院に行ったところ、捻挫と診断されたが後の検査で骨折と判明した。	31	231	2	100 ~ 299
2017	11	12~ 13	被災社員は、道路の幅員3m程度の住宅地を配達中、道路から入り込んだ配達先の配達を終え、道路を左折しようとした際、左側から来た相手乗用車と衝突した。衝突後、右側に転倒し、負傷した。	19	231	17	100 ~ 299
2017	11	10~ 11	配達に向かう途中、信号機の無い見通しの悪い交差点を二輪車で直進中、交差点右側から直進してきた相手四輪車が当方二輪車の右側キャリアボックスに衝突し、当方社員はその衝撃でバイクから飛ばされ背中等を打撲した。	38	231	17	100 ~ 299
2017	12	11~12	下り左カーブ付近の右側下の配達先に配達のため車両から降りようとしている最中に、下り右カーブを速度超過により曲がりきれなかった相手側車両の右側面が当方四輪の左後部に衝突した。	55	231	17	500 ~ 999
2017	12	10~11	配達のため、自動二輪に乗務し次の配達先に向かおうと、道路を走行中、轍にハンドルを取られ、ハンドルが左に切れて、右肩付近（右胸上部）から転倒し、鎖骨を粉碎骨折した。	53	231	17	100 ~ 299
			当局1階郵便部において、10段積みのパレットケース2列を運搬し				

2017	12	7~8	ようとして、右手側は押し、左手側は引きながら動き始めたところ、左手側のケースカートの車輪の動きが悪く、パレットケースのバランスが崩れ倒れてきた。一瞬支えようとしたが支えきれず、はずみで自身も尻もちをつくように転倒し、左足首を大きく捻った。多少の痛みはあったものの業務を継続したが、痛みと腫れが大きくなってきたため病院を受診した。	62	362	2	500 ~ 999
2017	12	11~12	配達先敷地内で、倒れたバイクを立て直す際に、路面が凍結していたため、滑ってバイクの下敷きになり転倒した。転倒時、左肩から地面に倒れ強打し、左鎖骨を骨折した。	45	231	17	500 ~ 999
2017	12	9~10	涉外営業中、当方二輪車は時速30kmで直線道路を走行していた。緩やかなカーブに差し掛かったところで路面が凍結していたため、そのままアイスバーンへ進入し両輪がスリップして左側へバイクと共に転倒し、左鎖骨および骨盤を骨折する負傷をした。	53	719	17	100 ~ 299
2017	12	8~9	勤務先近くの駐車場に自家用車を止め、徒歩で勤務先への出勤の途中、勤務先構内に入ったところで凍結した路面により転倒し、右足関節を骨折した。	57	719	2	100 ~ 299
2017	12	16~17	局舎内の階段で1階から2階に移動中、躓いて前のめりになりそのまま転倒し、階段の角に右膝を強打し骨折した。	38	413	2	100 ~ 299
2017	12	15~16	前車に追従して走行中、前車が右に寄ったことから、右折すると思い込み、前車の左前をすり抜けようとしたところ、前車が左折を開始し、巻き込まれ接触し転倒した。	19	231	17	100 ~ 299
2017	12	6~7	事務室1階作業場で、ロールボックス（L）の中棚（手前）を上げて開放した所、中棚を両手でしっかり支えるべきところを、片手で支え、不安定な状態で作業していたためすべり、中棚（奥）に置いていた左手に当たり負傷した。	25	169	7	100 ~ 299
			次の配達先へ向かうため直進中、降雪により積もった雪が前輪タイ				100

2017	12	12~13	ヤに溜まり、ロックした状態となり、左側へ転倒した。	43	231	17	~ 299
2017	12	15~16	局内、地下バイク置場にて、バイクのキャリーボックスへ配達物を積み込んでいたところ、配達物の量が多くふたが閉まらず、ふたを閉めるため、止め具にゴムを括り付けようとした。その際、バイクがバランスを崩して転倒し、支えようとして手を出したため、バイクにぶつけ負傷した。	50	231	3	~ 499
2017	12	11~12	前方道路に車両を停車し、小包を配達しようと、車両後部を開け、荷物を左手で底を持ち、右手で結束バンドを持って降ろそうとしたところ、結束バンドがはずれ、右足親指に荷物が落下し、親指を負傷した。（荷物の中身は車のホイール）	49	611	4	~ 499
2017	12	9~10	客先にて年賀はがき出張販売を行うため、裏口から入所し、受付を終え店内に向かう扉を開けたところ、扉が重いため閉まらなかった。開放厳禁の貼り紙もあったことから、扉を閉めようと扉の蝶番側の枠に手をかけたところ、急に扉が閉まったため、指が挟まり負傷した。扉は、ドアノブがない押し開きタイプであった。	62	418	7	~ 499
2017	12	19~20	お客様宅への配達を終え、建物西側の外階段を下り、車両へ戻る途中、最後の段に着地した際、右足首を大きく捻り、負傷した。	42	413	19	~ 299
2017	12	8~9	始業時の体操をしている時、意識がなくなり、前へ倒れて床に顎を強打し、顎に裂傷、歯に欠損を負った。抜糸後、歯のレントゲンを撮った時、顎の骨にヒビが入っている事がわかった。	52	417	2	~ 499
2017	12	17~18	当社社員が配達を終え、駐車していた車へ戻る際に後方から接近してきた自転車に追突され転倒し負傷した。相手自転車は逃走し、警察署へ傷害事件として被害届を提出した。	26	239	3	~ 999
2017	12	13~14	配達中、アパートの2階から1階へ階段で下りる際に工事用の足場につまずき右足を強打した。	61	413	2	~ 999

2017	12	15~16	職場の休憩スペースで、ソファに横になっていた状態から起き上がる際に、ソファの端に足をかけた為踏み外し、足の甲から着地し、強く捻った。	41	391	19	~ 9999	1000
2017	12	16~17	集配営業部事務室内の外務課長席付近に置かれた2段積みファイバー置台の横を歩いていたところ、2段積みファイバー置台が死角となって台車に積まれたカゴが見えなかったため、カゴに躓いて転倒し、右膝を床に打ちつけた。（配達物が入っていないか、ファイバーの中を確認しながら歩いている、台車に積まれたカゴに気がつかず躓いて転倒した。）	63	611	2	~ 499	300
2017	12	9~10	本館2階作業室で、パレット2台を連結して運ぶ際、誤って指を挟んだ。もともと怪我をして爪がはがれていたところを挟んだこと、服用している薬のせいで血が止まらなくなった。	52	362	7	~ 9999	1000
2017	12	15~16	配達業務に従事中、配達先アパート入口付近において、高さ20cm程度の段差につまずき、そのまま前方に膝から転倒した。両膝ともに負傷したが、特に右膝の負傷が大きく、翌日に整形外科を受診し、当面1ヶ月程度の局所安静及び病院加療を要する見込みである。	52	417	2	~ 299	100
2017	12	12~13	当方は四輪車、相手方は原付バイクで走行していた。横断歩道に歩行者が横断待ちをしていた為、当方は停車した。その1~2秒後に相手方の原付バイクが、停車していた自車に追突し、被害者の腰部を直撃した。	44	231	17	~ 499	300
2017	12	9~10	運転していた自動二輪が配達エリアに向かう途中、配達物が多く入っていた配達カバンが、路面による段差で、右側のフックから外れ、左側にぶら下がるようになり、左側に重心がかかりバランスをとろうとしたがバランスを崩して、走行中に右側から路面に倒れて負傷した。	59	231	17	~ 299	100
			3階集配事務室内において、戸別組み立て作業中に通路にあった配					300

2017	12	10~11	達物が山積みのカゴを移動しようと持ち上げた際、腰に激痛を感じた。	55	611	19	~ 499
2017	12	17~18	配達業務のため、四輪車両で走行中、道路が渋滞しており、停車していたところへ後方車から追突され、その勢いで、前の車に追突した。結果、4台の玉突き事故という事が判明し、当社社員のみ、首と腰に痛みがあり、救急車で病院へ搬送された。	53	231	17	~ 999
2017	12	10~11	配達業務中に、バイクで停車中バランスを崩し、路面がぬれていたため足が滑って左側に倒れた。倒れた際に、左肩と肋骨を強打ち、左肩と肋骨の骨折と診断された。	56	231	2	~ 999
2017	12	14~15	次の配達先へ向かうため、L字の町道を右に曲がっていたところ、L字中央部あたりに道路損傷があり、損傷上を気づかず通過したとき、前輪がとられ転倒し負傷した（バイク運転中）。	46	231	17	~ 999
2017	12	18~19	お客さま宅へ小包を配達するため、スロープを歩行していたとき、左へ曲がったところが凍っていた。足を滑らせ転倒し、左下腿骨を骨折した。	49	719	2	50~ 99
2017	12	16~17	集荷先に向かって歩行中、道に窪みがあるのに気付かず右足が入り、バランスを崩して転倒した。その際、右手と右顔面を道にぶつけて怪我をした。	34	418	2	~ 299
2017	12	18~19	信号交差点において、配達を終え帰局途中のバイクと帰宅途中の相手方乗用車が交差点内で衝突した。バイクは前方車に続いて南東から北方向へ右折し、相手車両は北西から東へ左折をしていた。出合い頭にバイク前輪左側と乗用車右前角が接触して、さらに勢いでバイク左側面と乗用車右側面がぶつかった。バイク運転者は路上に投げ出され、救急車で搬送された。その際に左鎖骨を骨折した。双方は接触するまで互いの車輻を認識しておらず、ブレーキをかけることなく走行中であった。また、相手車両が交差点へ進入する際には、青から黄色へ信号が変わっていた。	23	231	17	~ 299
							100

2017	12	9~10	3階集配営業部フロアにて、出勤処理をしようとした際に躓き、左足を捻った。	60	921	19	~ 299
2017	12	11~12	配達を終え、次の配達先へ自動二輪で向かう際、駐車場出入口の斜面が凍結していることに気がつかないまま凍結斜面を走行したため、スリップして転倒し、右膝を負傷した。	40	231	17	~ 299
2017	12	15~16	小包の配達中、配達を終えて敷地内から軽四に戻るときに、縁石に躓いて前方に転倒した。転倒した際に右手から地面につき、右腕を捻り、左膝を打撲し負傷した。	52	418	2	~ 299
2017	12	12~13	被災者は、バイクにて配達業務に従事中、被災地である見通しのよい交差点（信号機なし）を直進中、右方から走行してきた乗用車が、一時停止標識があるにもかかわらず、停止・左右確認が不十分なまま交差点に進入したことにより、当方バイクに衝突した。被災者およびバイクははね飛ばされ、被災者は転倒し負傷した。	42	231	17	~ 299
2017	12	19~20	小包配達に従事中、マンションでの配達を終えて、台車と小包を抱えながら車に戻る際、雪や雨が降った直後で階段が濡れており、足元を確認せずに降りたため滑って転倒した。なお、靴底はすり減って溝が無い状態であった。	25	413	1	~ 299
2017	12	11~12	配達業務中、当方に一時停止のある交差点に進入する際、一時停止後、カーブミラーで目視し、交差する車両を確認した。先に左折して間に合うと思い左折を開始し、右側の目視確認を十分に行わなかったため、右側から来た普通乗用車（相手車両）の前方と当社員のバイク右側側面が衝突した。	31	231	17	~ 999
2017	12	19~20	事務に従事中、新型区分機を操作し配達物の差立業務をする際、新型区分機の読み取りエラーのため、R1排除部の配達物が溜まったときに、センサーが反応したランプを消そうとしたところ、R1排除部の奥のベルトに右手薬指が巻き込まれて、傷口5cmを縫う裂傷を負った。	56	169	7	~ 299

2017	12	11~12	荷物の配達作業中、段差の多い下り坂を歩行中に転倒し、頭部を強く打ちつけた。	60	419	2	30~ 49
2017	12	17~18	臨時出張所が終了し、撤去作業中、テントの重りをずらそうと3cmほど持ち上げたところ、手が重みに耐えきれず、右足付根に落とした。	39	419	4	500 ~ 999
2017	12	18~19	局内4階作業場で、パレットケースに入った大型配達物をパレットに積み替える作業中、パレット下段の奥にパレットケースを積み込もうとした際、パレットの中棚が倒れてきて、後頭部を強打した。	32	362	5	1000 ~ 9999
2017	12	15~16	徒歩で配達先に行くため、バイクから降りようとしたところ、腰に激痛が生じた。腰から右臀部、右足にかけて痛みがあり、身動きが取れなくなったため、職場に携帯電話で連絡を取り、救急車で病院へ搬送された。腰痛の持病はないが、当日は昼頃から少し腰に違和感があったとのことである。	31	231	19	100 ~ 299
2017	12	11~12	年末のためパレットや台車で非常に狭隘になっていた事務室で、小包を運ぶため細い通路を横向きで移動していた際、足元に放置されていた台車に躓き、左膝をつくような体勢で転倒した。	49	362	2	100 ~ 299
2017	12	19~20	地下駐車場で配達で残った小包を降ろす際、軽四輪自動車のトランクのドアを閉めるときに左手に小包を抱えていたためバランスを崩し、右手をトランクのドアに伸ばしたところ右胸に激痛がはしった。	55	921	19	100 ~ 299
2017	12	14~15	ワゴンセールシフトに入るため、1Fのフロアを歩行していたところ、転倒して左膝を骨折した。	65	418	2	100 ~ 299
2017	12	16~17	配達先から道路に左折する際、直進してきた相手方車両の左側面と衝突し、はずみでハンドルをとられ、当方車両が配達先宅の民家の鉄柵と植え込みの中の木に当たり、損傷させた。	29	231	17	500 ~ 999
			配達先への配達を終え、徒歩にて下り道を下っていた際、足を滑ら				100

2017	12	12~13	せ転倒し、右膝を強打した。大したことはないだろうと判断しそのまま業務を続けたが、腫れと痛みが引かず、骨折していた。	63	417	2	~ 299
2017	12	13~14	小包配達のため客宅を訪問し、留守だったため車へ戻ろうとした際に、玄関先の階段を下りようとしたとき、足を踏み外して転倒し、左手を突き負傷した。その際、頭部や足等に擦り傷も負った。	65	413	1	300 ~ 499
2017	12	12~13	会社事務所の配達を終えマンションを出る際に、マンションエントランス屋外階段（幅約90cm、高さ約20cm、6段）から下りようとしたところ、マンションリフォームのため階段下り口に養生シートとその上に滑り止めシートが敷かれており、そのシートの上を歩行中にシートごと階段へ滑り落ちた。滑り落ちる際に両足を払われる形となり、尻と腰を強打した。	44	413	1	100 ~ 299
2017	12	18~19	客宅の敷地周辺に張ってあった網に、暗やみのため足を引っかけて、コンクリートの地面に膝から転倒して負傷した。	60	417	2	100 ~ 299

出典：https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen_pgm/SHISYO_FND.aspx(職場のあんぜんサイト)

Return to : https://www.jisha.or.jp/international/topics/202206_06.html